「元気な浜田」をつくるための
ロードマップ

令和7年7月

浜田市が目指す将来像

住みたい　住んでよかった　魅力いっぱい　元気な浜田

～豊かな自然、温かい人情、人の絆を大切にするまち～

平成27年12月に「第2次浜田市総合振興計画」を策定し、浜田市が将来像を実現するために、7つのまちづくり大綱を掲げました。

「第２次浜田市総合振興計画」に基づき「元気な浜田」をつくるために、各種施策に取り組んでまいります。

7つのまちづくりの大綱

Ⅰ 活力のある産業を育て雇用をつくるまち

Ⅱ 健康でいきいきと暮らせるまち

Ⅲ 夢を持ち郷土を愛する人を育むまち

Ⅳ 自然環境を守り活かすまち

Ⅴ 生活基盤が整った快適に暮らせるまち

Ⅵ 安全で安心して暮らせるまち

Ⅶ 協働による持続可能なまち

　このロードマップにおいて、7つのまちづくり大綱の中でも、特に重点的に取り組む項目や、その他の市政運営に係る重要な事項について、いつ検討し、いつやるのか、という行程を具体的に表しました。

浜田市長　久保田 章市

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【DX推進課、行財政改革推進課、総合窓口課】

No.	項目	目的・目標	令和4年度		評価	総合評価	令和5年度		評価	総合評価	令和6年度		評価	総合評価	令和7年度
1	自治体DXの推進	デジタル技術の活用による住民サービスの向上と業務効率化	実施した内容	○オンライン申請の拡充による住民サービスの向上 (1)令和4年度オンライン申請補助事業に対応したシステム改修 ①子育て関係15手続き ②介護関係11手続き ⇒改修完了予定(R5.3末) (2)ぴったりサービスの活用によるオンライン申請対応の検討と実施 ①消防(予防)業務オンライン申請 ②既存申請ページの見直し ⇒各所属において見直しを実施 (3)次年度以降の補助対象となる申請に関するシステム改修準備 ⇒補助対象となる申請に関する情報が国から公表されていない。(R5.3月時点)	(1) ○ (2) ○ (3) ○	○	実施した内容	○オンライン申請の拡充による住民サービスの向上 (1) 申請受付、住民向けアンケート等のオンライン化 令和5年度から運用開始予定のオンライン化プラットフォームを活用し、申請受付、住民向けアンケート等のオンライン化を実現 (2) 各種サービスを活用したオンライン申請環境拡充と住民サービスの向上 ぴったりサービス、しまね電子申請、オンライン化プラットフォームの各種申請環境の連携、拡充により住民サービスの拡充を実施 (3) オンライン化の周知 施政方針にある「いつでもどこでも行政手続き」のようなわかりやすい目標を定めて周知を図る。 市ホームページで申請についての周知を実施 ⇒各所属業務の申請利用拡大に向けて随時ヒアリングと説明を実施	(1) ○ (2) ○ (3) △	○	実施した内容	○オンライン申請の拡充による住民サービスの向上 (1) 各種サービスを活用したオンライン申請環境拡充と住民サービスの向上 ぴったりサービス、しまね電子申請、オンライン化プラットフォームの最適化により住民サービスの拡充を図る。 (2) オンライン化の利用拡大への取組 各種サービスの利用方法を庁内に周知し、デジタルファーストとなるよう利用の拡大を図る。 ⇒各所属業務の申請利用拡大に向けて随時ヒアリングと説明を実施 ■実績 利用部署:22部署 手続き件数:163手続き 利用件数:約4,900件	(1) ○ (2) ○	○	○オンライン申請の拡充による住民サービスの向上 (1) 各種サービスを活用したオンライン申請環境拡充と住民サービスの向上 ぴったりサービス、しまね電子申請、オンライン化プラットフォームの最適化により住民サービスの拡充を図る。 (2) オンライン化の利用拡大への取組 各種サービスの利用方法を庁内に周知し、デジタルファーストとなるよう利用の拡大を図る。 (3) スマートフォンを通じた利便性の高い手続環境の実現 スマートフォンで、市の申請手続きや施設予約などが一元的に行える環境構築を目指す。 令和7年度は、サービス提供事業者等の調査研究を進め、早期の予算化に向けて取り組む。
				○手数料等のオンライン決済対応による住民サービスの向上 (1)対象決済方法の検討 ①サービス提供事業者へのヒアリング ②先行自治体へのヒアリング ⇒提供事業者において、サービス提供が中断 (2)オンライン決済導入と内部調整 ①入金確認手続きに関する調整 ⇒完了 ②職員向け研修等の実施 ⇒来年度実施予定 (3)オンライン決済導入の周知 ①住民向け広報・PR ⇒来年度実施予定	(1) ○ (2) △ (3) ×	△		○手数料等のオンライン決済対応による住民サービスの向上 (1) オンライン決済の導入 普及率の高い決済手段に対応したサービスの導入を実施 ⇒まちなか交流プラザの予約システムの運用開始(R5.9) ⇒本庁各支所窓口を手続対象に追加する事務手続き中 (1/31 PayPay社システム上の手続きを実施予定) ⇒市・事業者間の利用手続は完了したが、運用導入に向けて、本庁及び各支所窓口担当部署と事務手続きについて調整を継続中 (2)オンライン決済導入への対応 担当職員向け研修を実施 ⇒視察後、検討会議を開催。導入の方向で事務調整を開始。まちなか交流プラザでの運用を参考に、事務フロー作成や課題を検討中 ⇒まちなか交流プラザの運用実績や事務手続きヒアリングを実施、窓口への導入に向けて対応する手順を整理し、担当課へのヒアリングを実施 ⇒先行導入自治体の視察を実施後、検討会議を開催 導入の方向で事務調整を開始したが、実際の窓口での手順や、決済、入金から調定までの流れについて、担当課と調整を継続中 (3)オンライン決済導入の周知 住民向け広報・PR ⇒利用開始したまちなか交流プラザについては、ホームページ、利用案内等で周知を実施	(1) △ (2) △ (3) △	△		○手数料等のオンライン決済対応による住民サービスの向上 (1) オンライン決済の導入 普及率の高い決済手段に対応したサービスの導入を実施する。 ⇒7月1日キャッシュレス決済の試験的導入 (総合窓口課、税務課、各支所市民福祉課の証明書発行窓口) (2)オンライン決済導入への対応 担当職員向け研修を実施する。 ⇒総合窓口課、税務課、各支所市民福祉課担当者向け説明会を実施 (3)オンライン決済導入の周知 住民向け広報・PR ⇒浜田市ホームページ ■実績 オンライン決済:PayPay 利用開始時期:令和6年7月1日から 利用件数:205件(令和7年3月末時点)	(1) ○ (2) ○ (3) ○	○	計画	○手数料等のキャッシュレス決済対応による住民サービスの向上 (1) キャッシュレス決済端末の導入 キャッシュレス決済手段の拡充を図るため、専用端末を導入 (2) 周知、PR 浜田市HP等を通じて、周知PRを図る。

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

1	自治体DXの推進	デジタル技術の活用による住民サービスの向上と業務効率化	実施した内容	○自治体標準システムへの対応による業務効率化 (1)自治体標準システム導入に向けた調査 ①標準システム機能の調査 ②浜田市独自機能の洗い出し ⇒概要調査実施 具体的な作業はR5年度開始予定 (2)先行導入自治体の情報収集 ①導入前後の業務内容比較に関する情報収集 ②導入システム(企業)に関する情報収集 ⇒公開資料、国開催の説明会等から情報収集 近隣自治体等と情報交換を実施	○ ○	○	実施した内容	○自治体標準システムへの対応による業務効率化 (1)自治体標準システム導入に向けた事前準備 ①現行システムとの比較検証の実施 ②文字(外字)の整理 ⇒今年度分作業についての補助決定通知を受け、 7月4日補助交付決定、7月28日契約 ⇒R5.9.8キックオフ会議開催、以後、各業務分科会毎に 検討会議を開催し、令和5年度分作業は3月下旬完了 (2)近隣自治体との情報交換と共同利用環境の調整 ①ビジネスチャットを活用した情報交換 ②全県WANを活用した標準システム用ネットワークの 整備に関する県及び他自治体との調整 ⇒補助金申請にあたり調整及び情報収集に利用 R5.7.24事業説明会開催 ⇒令和6年度更新予定の行政ネットワークを利用した 標準化対応回線の利用について情報交換を実施 ⇒ネットワーク回線についての情報交換に利用 国、県からの情報をもとに情報収集と検討を継続中	○ ○	○	実施した内容	○自治体標準システムへの対応による業務効率化 (1)自治体標準システム導入に向けた事前準備 ①標準システム移行計画の策定 ②標準システムに対応したネットワーク環境の整備 ⇒今年度分作業についての補助金交付決定通知を 受け、移行に向け作業 3月29日交付決定、4月30日契約 ⇒ネットワーク環境整備に向けた変更交付申請を提出 7月31日交付決定変更通知 8月26日一部契約 ⇒国保、戸籍システムの移行に係る変更交付申請を提出 11月14日交付決定変更通知 国保システム:契約済み 戸籍システム:契約済み ⇒R7年度交付申請書類を作成(R7.1.31提出済) ⇒R6年度実績報告書を作成(R7.4.4提出済) 今年度作業について3月末で完了 (2)近隣自治体との情報交換と共同利用環境の調整 ①ビジネスチャットを活用した情報交換 ②ガバメントクラウドに対応した接続回線について、 共同利用することでセキュリティの確保と安定稼働、 コストカットを実現する。 ⇒標準化対応の進捗状況について情報交換を実施	○ ○	○	計画	○自治体標準システムへの対応による業務効率化 (1)自治体標準システムへの移行 ①現行システムから標準システムへのデータ移行 ②標準システム本稼働 ③本稼働後の運用フォロー ⇒今年度分作業についての補助金交付決定通知を受け、 移行に向け作業(3/28交付決定、4月4日契約) 住民情報システム移行に係る全体説明会(5/20)
				項目なし				項目なし				項目なし				○ペーパーレスの推進 (1) ペーパーレス会議(試行)　令和7年12月頃 ・部長級等の業務端末をデスクトップ型からノート型へ切替え ・庁議室、講堂での庁内無線ネットワーク環境の構築
				項目なし				項目なし				項目なし				○AIの活用 (1) AI議事録作成支援システムの機能拡張 ・AI議事録作成支援システムへのAI要約機能の追加 (2)　生成AIの活用検討 ・少人数を対象とした効果検証及び課題抽出 ・生成AI運用ルール等の策定 → 5月下旬からトライアル運用開始
				項目なし				項目なし				○浜田市窓口DX「スマート窓口(仮)」の検討 (1)本庁支所間の窓口連携の強化による、住民の利便性 向上 →旭支所市民福祉課とのオンライン窓口を試行 (5～10月) 本庁支所間オンライン窓口導入に向けた検証(11月) 8月1日　オンライン窓口デモ・検討会議開催 8月22日　三隅支所市民福祉課とのオンライン窓口を試行 9月26日　金城支所市民福祉課とのオンライン窓口を試行 10月4日　第2回オンライン窓口検討会議開催 10月17日 弥栄支所市民福祉課とのオンライン窓口を試行 12月19日 第3回オンライン窓口検討会議開催 ⇒新しい地方経済・生活環境創生交付金申請 政策企画課を通してデジタル実装型TYPE1として 申請済⇒3月13日内示あり →各支所実績 旭支所　　39件(他窓口業務外での利用　4件) 三隅支所　　9件 金城支所　　8件 弥栄支所　　8件(他窓口業務外での利用　1件) 合計　　64件(他窓口業務外での利用　5件) (2)実施自治体の現状を調査・研究 ⇒9月20日調査済	○ ○	○		○本庁支所間の窓口連携の強化による、住民の利便性向上 ・本庁窓口担当課と各支所市民福祉課をつなぐ オンライン窓口システムの導入 (令和7年度プロポーザルにて業者選定、導入予定)

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【総務部行財政改革推進課】

No.	項目	目的・目標	令和4年度		評価	総合評価	令和5年度		評価	総合評価	令和6年度		評価	総合評価	令和7年度	
2	市有財産の利活用	遊休財産の処分等による財源確保	実施した内容	○市有財産売却計画の見直し （1）市有財産売却計画の改訂 ①売却物件の検討、調整（4～7月） ②売却計画改訂版案の作成（6～11月） ③売却計画改訂版の決定、公表（12月）		○	実施した内容	○市有財産売却計画の見直し （1）市有財産売却計画の改訂 ①売却物件の検討、調整（4～7月） ②売却計画改訂版案の作成（6～11月） ③売却計画改訂版の決定、公表（12月）⇒1月公表		○	実施した内容	○市有財産売却計画の見直し （1）市有財産売却計画の改訂 ①売却物件の検討、調整（4～7月） ②売却計画改訂版案の作成（6～11月） ③売却計画改訂版の決定、公表（12月） ⇒12月公表		○	計画	計画の見直し・公表の実施
				○売却可能物件の処分 （1）売却可能物件の公募、売却 ・希望ケ丘団地市有地 ⇒再度入札予定 ・和田一般住宅跡地 ⇒3月売却予定 ・重富住宅団地（1区画）⇒随時募集 ・岡見住宅団地（1区画）⇒随時募集 （2）その他物件の売却 ・貸付中の物件等（随時） ・里道、水路（随時） （3）子育て支援センター跡地利用（R5年度売却） ①測量登記（9月～11月） ②建物解体（1月～2月） ③活用検討（9月～3月）⇒関係機関と区画等検討中	○ ○ ○	○		○売却可能物件の処分 （1）売却可能物件の公募、売却 ・子育て支援センター跡地⇒3月契約済 ・雇用促進住宅 ⇒9月契約済 ・重富住宅団地（1区画） ⇒随時募集 ・岡見住宅団地（1区画） ⇒8月契約済（1区画） （2）その他物件の売却 ・貸付中の物件等（随時） ・里道、水路（随時）	○ ○	○		○売却可能物件の処分 （1）売却可能物件の公募、売却 ・原井幼稚園跡地 ⇒3月契約済 ・重富住宅団地（1区画） ⇒随時募集 ・岡見住宅団地（1区画） ⇒随時募集 （2）その他物件の売却 ・貸付中の物件等（随時） ・里道、水路（随時）	○ ○	○		売却計画に基づき財産処分を実施

【総務部防災安全課】

No.	項目	目的・目標	令和4年度		評価	総合評価	令和5年度		評価	総合評価	令和6年度		評価	総合評価	令和7年度	
3	災害に強いまちづくり	住民の防災意識の向上	実施した内容	様々な媒体を通して、ハザードマップを周知する			内容				実施した内容	○ハザードマップの更新 （1）内容 ・従来別だった津波、水害のハザードマップを合冊 ・浜田市5地域の合冊 ・A4からB4にサイズ拡大 ・イエローゾーンや浸水想定区域の色味を継続 ・マイタイムラインの改善など、学習ページを充実 （2）配布 ・令和7年3月中に全戸配布（広報はまだ配布対象者） ・広報はまだ配布対象者全てに配布 3月14日に納品、行政連絡員への配布開始 ・社会福祉施設、学校、まちづくりセンター等の施設にも配布 ・令和6年度行政連絡員会議にて、協力依頼済 ・島根県のwebサイト「マップonしまね」にて公開し、冊子版にはサイトのQRコードを記載	○ ○	○	計画	様々な媒体を通して、ハザードマップを周知する

3	災害に強いまちづくり	地域防災力の向上	実施した内容	○自主防災組織の組織率の向上と活動強化及び地域防災力の向上 (1)自主防災組織の組織率の向上 ⇒新たに9団体が組織化したが、組織率の数値目標は未達（77%目標に対し73.7%） (2)自主防災組織の活動強化 ⇒・自主防災組織及び町内会等の防災意識向上を図るため、総合防災訓練、津波避難訓練、防災出前講座、外部講師による研修を実施 ・「親子で防災」等のイベントにより、従来よりも幅広い層が防災活動に参画 ・島根県の事業を活用し、9名の防災士を養成 （津波避難訓練参加者 1,694人） (3)市民参加型の総合防災訓練の実施による地域防災力の向上 ⇒地域防災力の向上を図るため、防災情報伝達訓練、避難行動訓練、状況等の報告訓練など住民参加型の防災訓練を実施 （総合防災訓練参加者 7,049人）	△ ○ ○	○	実施した内容	○自主防災組織の組織率の向上と活動強化及び地域防災力の向上 (1)自主防災組織の組織率の向上 ・自主防災組織がない地域への組織化の働きかけ ・防災出前講座による啓発 ・職員による指導・助言 ・補助事業の活用 ⇒8団体が設立したが、組織率の数値目標は未達 （79.2%目標に対し73.9%） (2)自主防災組織の活動強化 ・避難先、訓練方法等の指導助言 ・防災士養成支援 ・防災出前講座、外部講師による研修による啓発 ・周布・大麻地区 津波避難訓練 令和5年12月3日（日） 518人 ⇒自主防災組織及び町内会等の防災意識向上を図るため、総合防災訓練、津波避難訓練、防災出前講座、外部講師による研修を実施 ・島根県の事業を活用し、10名の防災士を養成 ・外部講師による研修は125名参加 (3)市民参加型の総合防災訓練の実施による地域防災力の向上 ・令和5年6月4日（日）実施 ・市民への訓練内容説明 ・防災情報伝達訓練 ・避難行動訓練 ・状況等の報告訓練 ⇒地域防災力の向上を図るため、防災情報伝達訓練、避難行動訓練、状況等の報告訓練など住民参加型の防災訓練を実施 （参加者 7,158人）	△ ○ ○	○	実施した内容	○自主防災組織の組織率の向上と活動強化及び地域防災力の向上 (1)自主防災組織の組織率の向上 ・自主防災組織がない地域への組織化の働きかけ ・防災出前講座による啓発 ・職員による指導・助言 ・補助事業の活用 ⇒6団体が設立したが、組織率の数値目標は未達 （82.0%目標に対し74.2%） (2)自主防災組織の活動強化 ・避難先、訓練方法等の指導助言 ・防災士養成支援 島根県の事業を活用し、15名の防災士を養成 ・防災出前講座による啓発 162回 ・外部講師による研修 10月5日(土)実施 講演77名、フィールドワーク55名が参加 ・津波避難訓練 11月30日（土） 24町内（239人）+4施設（50人） 計289人が参加 災害協定に基づく協力企業 4社 (3)市民参加型の総合防災訓練の実施による地域防災力の向上 ・令和6年6月2日（日）実施 ・市民への訓練内容説明 ・防災情報伝達訓練 ・避難行動訓練 ・状況等の報告訓練 参加者数 475団体 13,917人（人口比28.3%） ・訓練の意見、感想を意見交換会やアンケートで集約 (4)防災チェック週間実施 ⇒「安全チェックの日」(8/30～9/5)として実施 防災、消防に絞った横断的な防災チェックリストを作成 「扉を開けて」8月放送、広報はまだ9月号等により周知	△ ○ ○ ○	○	計画	○自主防災組織の組織率の向上と活動強化及び地域防災力の向上 (1)自主防災組織の組織率の向上 ・自主防災組織がない地域への組織化の働きかけ ・防災出前講座による啓発 ・職員による指導・助言 ・補助事業の活用 (2)自主防災組織の活動強化 ・避難先、訓練方法等の指導助言 ・防災士養成支援（島根県の事業を活用） ・防災出前講座による啓発 ・外部講師による研修 ・津波避難訓練 (3)市民参加型の総合防災訓練の実施による地域防災力の向上 ・令和7年6月1日（日） 実施 ・市民への訓練内容説明 ・防災情報伝達訓練 ・避難行動訓練 ・避難行動要支援者への配慮 ・状況等の報告訓練 ・訓練の意見、感想を意見交換会やアンケートで集約 ・新しいハザードマップの普及 (4)「安全チェックの日」(8/30～9/5)実施 防災、消防に絞った横断的なチェックリストを作成 広報はまだ等により周知
				○周布川近隣の避難体制の検討 (1)地域住民が避難行動を起こすための体制づくり ⇒最も早く浸水が想定される地域において、自主防災組織設立（令和5年4月設立予定） (2)避難所の検討 ⇒ ・一時避難所の協定締結 ・周布川西側の防災拠点について、整備方針決定（令和6年度出水期までに整備） (3)治水対策の実施（県への要望等） ・堤防の低い箇所の嵩上げを要望 ・地域に応じた水位情報設定の検討 令和4年度出水期までに設定を完了し、地元住民に説明実施 ・河川カメラの増設 （令和5年度出水期までに完了予定） (4)周布橋の建設 ・設計（3月完了） ・被災橋撤去（橋脚、桁撤去 3月完了）	○ ○ ○ ○	○		○周布川近隣の避難体制の検討 (1)地域住民が避難行動を起こすための体制づくり ・防災情報取得手段の啓発 ・正しい避難先・避難方法の選定支援 ・自主防災組織設立・強化支援 ⇒自主防災組織の活動支援 周布川西防災センターを前提とした避難行動の検討 (2)周布川西側の防災拠点整備 ・外構、建築設計施工一括発注 ・工期 令和5年度中 ⇒令和5年度中に完成 周布川西防災センター開所式（令和6年4月26日） (3)治水対策の実施（県への要望等） ・堤防の低い箇所の嵩上げ ・河川カメラの増設完了（令和5年6月1日より公開開始）	○ ○ ○	○		○周布川近隣の避難体制の検討 (1)地域住民が避難行動を起こすための体制づくり ・防災情報取得手段の啓発 ・正しい避難先・避難方法の選定支援 ・自主防災組織設立・強化支援 周布川西防災センターを中心に総合防災訓練参加 (2)周布川西側の防災拠点整備 周布川西防災センター開所式（令和6年4月26日） 総合防災訓練に併せ、周辺住民との避難訓練実施 総合防災訓練に127人参加、避難訓練後は消火訓練を実施	○ ○	○		○周布川近隣の避難体制の検討 (1)地域住民が避難行動を起こすための体制づくり ・防災情報取得手段の啓発 ・正しい避難先・避難方法の選定支援 ・自主防災組織設立・強化支援 周布川西防災センターを中心に総合防災訓練参加
3	災害に強いまちづくり	次期防災情報システムの導入（防災行政無線の更新）	実施した内容	項目なし			実施した内容	○次期防災情報システムの導入 (1)基本方針（令和5年度） ・基本方針作成 ・浜田市議会（9月、11月）、市民に方針説明（10月、11月） ・関係機関との調整 ⇒基本方針を作成し、議会及び地域協議会に理解を得た (2)設計・施工（令和6年度以降予定） ・実施設計業務委託 1月25日 開札 ・浜田市議会、市民に方針説明 ・関係機関との調整 ⇒実施設計委託契約（R6.2） ・3月末から実地調査開始 広報紙、ケーブルテレビ、防災無線、防災メール等により周知	○ ○	○	実施した内容	○次期防災情報システムの導入 (1)設計 ・実施設計業務 3月下旬から実施中、9月30日に完了 ・12月 総務文教委員会、全員協議会に説明 ・2月～3月 各地域協議会に説明 ・関係機関との調整 (2)施工 ・実施設計業務の結果を踏まえ予算要求予定 ⇒R7年度予算で予算要求(3/18可決) ⇒3/17工事請負等審査会 ⇒令和7年度に入札、契約締結を予定	○ ○	○	計画	○次期防災情報システムの導入 (1)施工 ・6月議会にて議決後、契約 ・令和8年度完了予定 ・個別受信機の更新、新設の案内を周知予定 (2)防災DX DX推進課と連携し、令和7年度中に次の機能を導入する ・発令情報収集機能 ・避難所管理機能 ・備蓄品管理機能

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【定住関係人口推進課・商工労働課・ふるさと寄附推進室・農林振興課・教育総務課・スポーツ振興課・金城支所防災自治課・金城支所産業建設課・旭支所産業建設課・弥栄支所産業建設課】

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
4	地域おこし協力隊による若者の移住促進	地域おこし協力隊制度を活用し、若者を市外から受入れ、地域活性化に繋げる	実施した内容	項目なし			実施した内容	○地域おこし協力隊受け入れ状況 令和5年度　当初3名、年度末8名 【地域おこし協力隊制度を活用した若者の移住促進】 (1)定住関係人口推進課　・・・募集中止 ①地域おこし協力隊サポート業務 ・募集準備(4月) ・1名募集(5月～) ・市内で活動している隊員の連絡調整、連携支援及び隊員の情報発信業務 ②ベルガロッソいわみの選手兼担い手　・・・採用決定 ・募集準備(4月～8月) ・3名募集(2月～) ・2名採用(3月1日委嘱) ・市内の働き手不足職場で働きながら、ベルガロッソいわみの選手として活動 (2)ふるさと寄附推進室　・・・募集中止 ①ふるさと寄附関係業務 ・募集準備、受付開始(4月) ・1名募集(5月～) ・ふるさと寄附のPR業務 ⇒募集中止(国の募集適正基準変更による) (3)農林振興課　・・・採用決定 ①農村型地域運営組織(農村RMO)関係業務 ・1名募集(5月) ・1名採用(8月1日委嘱) ・農用地保全、農業振興などの地域コミュニティ活動に取り組む地域運営の支援を実施 (4)教育総務課　・・・採用決定 ①郷土資料等整理業務 ・2名募集(4月～) ・2名採用(8月1日委嘱、9月1日委嘱) ・浜田市の郷土資料を整理し、データベース化などの業務 (5)文化スポーツ課　・・・募集中止 ①体育協会運営業務 ・1名募集(4月～) ・体育協会において、スポーツ振興や、中学校部活動の地域移行に関する業務 (6)弥栄支所産業建設課　・・・採用決定⇒退職 ①弥栄地域特定地域づくり事業協同組合設立準備業務 ・1名募集(7月～) ・1名採用(8月1日委嘱) ・弥栄地域における担い手の確保に向けた「特定地域づくり事業協同組合」の設置・運営業務 ・R5.12.31退職	(1) △ (2) × (3) ○ (4) ○ (5) × (6) △	○	実施した内容	○地域おこし協力隊受け入れ状況 令和6年度　当初8名、年度末11名 (いわみ留学受入事業(短期)を除く。) 【地域おこし協力隊制度を活用した若者の移住促進】 (1)定住関係人口推進課 ①地域おこし協力隊サポート業務・・・募集中止 ・1名募集(3月～12月) ・市内で活動している隊員の連絡調整、連携支援及び隊員の情報発信業務 ⇒業務見直しのため ②スポーツ選手による地域振興事業・・・活動中 ・2名(令和6年3月1日委嘱) ・市民の健康増進に向けた活動や市内の働き手不足職場で働きながら、ベルガロッソいわみの選手として活動 ・1名募集(1月～) ・2名採用(令和7年3月1日　2名委嘱) (2)農林振興課 ①農村型地域運営組織(農村RMO)関係業務・・・活動中 ・1名(令和5年8月1日委嘱) ・空き家の利活用、農業振興などの地域コミュニティ活動に取り組む地域運営の支援を実施 ②有機農業研修生【新規】・・・採用予定 ・3名募集(3月～12月) ・有機農業の自営就農を目指し、市内の先進的な生産者のもとで研修を受講 ・2名応募(令和7年4月委嘱予定) (3)教育総務課 ①郷土資料等整理業務・・・活動中 ・2名(令和5年8月1日委嘱、9月1日委嘱) ・浜田市の郷土資料整理、データベース化などの業務 (4)スポーツ振興課 ①体育協会運営業務・・・募集中止 ・1名募集(4月～7月) ・体育協会において、スポーツ振興や、中学校部活動の地域移行に関する業務 ⇒運営業務見直しのため (5)弥栄支所産業建設課 ①弥栄地域特定地域づくり事業協同組合設立準備業務・・・募集終了 ・1名募集(3月～12月) ・弥栄地域における担い手の確保に向けた「特定地域づくり事業協同組合」の設置・運営業務 ⇒設立準備が終了する見通しのため ②いわみ留学受入事業【新規】・・・募集終了 ・いわみ体験(2週間～3か月) 8名募集(6月～11月) ⇒10名採用(2週間～3か月活動) ・いわみ留学(1年) 1名募集(6月～11月) ・仕事体験を行いながら地域活動に参加 ⇒採用なし	(1)① × (1)② ○ (2)① ○ (2)② △ (3)① ○ (4)① × (5)① × (5)② いわみ体験 ○ (5)② いわみ留学 ×	△	計画	○地域おこし協力隊受け入れ状況 令和7年度　目標21名 R7.6.1現在　隊員15名　※うち1名任期満了 (いわみ留学受入事業(短期)を除く。) 【地域おこし協力隊制度を活用した若者移住事業】 (1)　定住関係人口推進課 ①スポーツ選手による地域振興事業 ・状況　4名活動中(2名:令和6年3月1日委嘱、2名:令和7年3月1日委嘱) ・活動内容 市民の健康増進に向けた活動、市内の働き手不足職場の支援及びベルガロッソいわみの選手としての活動 ②大学と地域をつなぐにぎわい創出事業【新規】 ・状況　1名募集中 ・活動内容 大学生を軸にした地域活動及び地元企業との連携による関係人口層の拡大 ③フリーミッション型【新規】 ・状況　1名募集準備中 ・活動内容 経験、特技及び資格等を活かす活動の企画提案による浜田市の地域資源を活用した活動及び事業創出 (2)　農林振興課 ①農村型地域運営組織(農村RMO)関係業務 ・状況　1名活動中(令和5年8月1日委嘱) ・活動内容 空き家の利活用、農業振興などの地域コミュニティ活動に取り組む地域運営の支援を実施 ②有機農業研修生 ・状況　2名活動中(令和7年4月1日委嘱) 2名募集準備中 ・活動内容 市内の先進的な生産者による有機農業技術習得 (3)　教育総務課 ①郷土資料等整理業務 ・状況　2名活動中(1名:令和5年8月1日委嘱、1名:令和5年9月1日委嘱) ・活動内容 浜田市の郷土資料整理、データベース化などの業務 (4)　弥栄支所防災自治課 ①　いわみ留学受入事業 ・いわみ体験(短期:2週間～3か月) 状況…8名募集準備中 活動内容…仕事体験及び地域活動への参加 ・いわみ留学(長期:1年) 状況…1名募集準備中 活動内容…仕事体験及び地域活動への参加 (5)　金城支所防災自治課 ①　美又共存同栄ハウス事業【新規】 ・状況　1名活動中(令和7年5月1日委嘱) ・活動内容 美又共存同栄ハウスの運営並びに活動による地域資源の発掘及び新たな層の流入・誘引

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

4	地域おこし協力隊による若者の移住促進	地域おこし協力隊制度を活用し、若者を市外から受入れ、地域活性化に繋げる	実施した内容	項目なし			実施した内容	【その他事業】 ①音楽を核とした定住促進事業 （定住関係人口推進課） ・1名（令和5年4月1日委嘱） ②後継者等人材育成支援事業（商工労働課） ・2名（令和4年6月1日委嘱、令和5年4月1日委嘱） 地域おこし協力隊活動報告会：R6.3.15（金）実施 地域おこし協力隊6名、地域おこし協力隊OB1名			実施した内容	（6）金城支所産業建設課 ①ゆめのねむら都市農村交流推進協議会事業【新規】・・・ 応募なし(R7継続募集) ・1名募集（4月～） ・団体の法人化に向けた取組や、農泊、田舎ツーリズムの推進に係る業務 ②「地域でもてなす（体験＋食）」体制づくり業務【新規】・・・ 活動中 ・1名募集（11月～12月） ・宿泊施設や観光施設間の連携の強化を図るとともに、「食」について、「地域でもてなす」体制づくり構築 ・1名採用（令和7年2月1日委嘱） 【その他事業】 ①音楽を核とした定住促進事業 （定住関係人口推進課） ・1名（令和5年4月1日委嘱） ②後継者等人材育成支援事業（商工労働課） ・2名（令和4年6月1日委嘱、令和5年4月1日委嘱） 地域おこし協力隊活動報告会：令和7年3月19日（水）実施 地域おこし協力隊8名	× ○		計画	（6） 金城支所産業建設課 ① ゆめのねむら都市農村交流推進協議会事業 ・ 状況　1名募集完了（令和7年8月から活動予定） ・ 活動内容 団体の法人化に向けた取組や、農泊、田舎ツーリズムの推進に係る業務 ② 「地域でもてなす（体験＋食）」体制づくり業務 ・ 状況　1名活動中（令和7年2月1日委嘱） ・ 活動内容 宿泊施設や観光施設間の連携の強化を図るとともに、「食」について、「地域でもてなす」体制づくり構築 （7） 旭支所産業建設課 ① 梨園（梨栽培）事業承継【新規】 ・ 状況　1名募集完了（令和7年10月から活動予定） ・ 活動内容 農家等の支援による栽培技術の習得及び地域協力活動並びに梨園の事業承継（梨栽培） （8） 観光交流課 ① フリーミッション型協力隊【新規】 ・ 状況　1名活動中（令和7年4月1日委嘱） ・ 活動内容 浜田市の自然・文化・生業・食等の観光資源活用及び観光客だけでなく地元企業・事業者がプラスになるコンテンツ作り 【その他事業】 （1） 定住関係人口推進課 ① 音楽を核とした定住促進事業 ・ 状況　1名活動中（令和5年4月1日委嘱） ・ 活動内容 音楽をとおした地域活性化 （2） 商工労働課 ① 後継者等人材育成支援事業 ・ 状況　1名活動終了（令和4年6月1日委嘱 ～令和7年5月31日任期満了） 1名活動中（令和5年4月1日委嘱） ・ 活動内容 後継者不在の事業所とのマッチング及び事業承継

【地域政策部定住関係人口推進課】

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
5	関係人口創出拡大	「関係人口」の力を地域に活かし、将来的な移住定住に繋げる	実施した内容	○関係人口との協働の推進 (1)浜っ子LINEクラブによる情報提供 ・LINEによる情報発信(毎月) 【目標:開封率:75%】 情報発信件数:11件 総発信数:4,432人　開封数:2,769人 開封率:63% 登録会員数:555名(3月現在)18名増 ・二十歳の集いにて新規会員獲得(10月・1月) ・市内高校・県立大学・リハカレ等の卒業式で新規会員獲得(3月) (2)浜田応援団の活用 ・広報、市ホームページ、チラシなど各種媒体を使った周知 ・団員決定・リスト化【目標:130名】 151名登録(3月現在) ・オンラインカフェ開催【目標:6回】 第4回　10名参加(5月24日) 第5回　14名参加(7月25日) 第6回　12名参加(9月23日) 第7回　7名参加(11月17日) 第8回　23名参加(1月31日) 第9回　10名参加(3月16日) ・地域・企業課題の収集【目標:10件】 ・団員リストとのマッチング【目標:8事例】 18事例(3月現在) (3)その他関係団体との連携等 ・市人会との連携 ・ひろしまはまだ会秋の例会(11月25日) ・庁内組織(支所、関係課)との連携 ・市民向けセミナーの開催(6月) 96名参加(6月26日) ・スタディツアー実施(12月3日～4日) のべ7名参加	(1) △ (2) ○ (3) ○	○	実施した内容	○関係人口との協働の推進 (1)浜っ子LINEクラブによる情報提供 ・LINEによる情報発信(毎月) 【目標:開封率:75%】 登録者数676人(配信可能520人) 情報発信件数:34件(3月末現在) 総発信数:15,464人　開封数:7,586人 開封率:49.0% ・二十歳の集いにて新規会員獲得(1月) ・市内高校・県立大学・リハカレ等の卒業式で新規会員獲得(2～3月) (2)浜田応援団の活用 ・広報、市ホームページ、チラシなど各種媒体を使った周知 ・団員決定・リスト化【目標:170名】 登録団員数:173人 ・オンラインカフェ開催【目標:6回】 第10回　12名参加(6月2日) 第11回　4名参加(10月15日) 第12回　8名参加(1月10日) ・地域・企業課題の収集【目標:10件】 ・団員リストとのマッチング【目標:12事例】 15事例(3月末現在) (3)その他関係団体との連携等 ・市人会との連携 ・ひろしまはまだ会総会(6/23) ・ひろしまはまだ会秋の例会(11/17) ・関西浜田会総会(7/9) ・ふるさとはまだの集い(3/2) ・広島金城会総会(4/7) ・近畿あさひ会総会(11/24) ・近畿弥栄会総会(10/29) ・近畿三隅会総会(10/28) ・庁内組織(支所、関係課)との連携 ・スタディツアー実施(2月25日)1名参加	(1) ○ (2) △ (3) △	△	実施した内容	○関係人口との協働の推進 (1)浜っ子LINEクラブによる情報提供 ・LINEによる情報発信(毎月) 【目標:開封率:75%】 登録者数(配信可能者数):595人 情報発信件数:44件(3月末現在) 総発信数:22,876人　開封数:12,226人 開封率:53.4% ・二十歳の集いにて新規会員獲得(1月) ・市内高校・県立大学・リハカレ等で新規会員獲得(2～3月) (2)浜田応援団の活用 ・広報、市ホームページ、チラシなど各種媒体を使った周知 ・団員決定・リスト化【目標:180名】 登録団員数:183人 ・オンラインカフェ開催【目標:6回】 第13回　13名参加(6月28日) 第14回　10名参加(7月31日) 第15回　6名参加(9月24日) 第16回　5名参加(12月12日) 第17回　9名参加(2月28日) ・地域・企業課題の収集【目標:10件】 11件 ・団員リストとのマッチング【目標:12事例】 19事例(3月末現在) (3)その他関係団体との連携等 ・出身者会との連携 広島金城会総会(4/19) ひろしまはまだ会総会(5/17) 関西浜田会総会(7/7) 近畿三隅会(10/12) 近畿弥栄会(10/27) 近畿あさひ会総会(11/23) 岡山島根会総会(7/19) 在広島島根県人会総会(7/26) 東京島根県人会総会(9/8) 東海島根県人会総会(11/3) ふるさとがご縁を結ぶ近畿島根県人会(11/17) ・庁内組織(支所、関係課)との連携 ・スタディツアー実施(今年度未実施)	(1) ○ (2) ○ (3) △	○	計画	○関係人口との協働の推進 (1)浜っ子LINEクラブによる情報提供 ・LINEによる情報発信(毎月) 【目標:開封率:75%】 登録者数(配信可能者数):610人 情報発信件数::4件(4月末現在) 総発信数:2,435人　開封数:1,696人 開封率:69.7% (2)浜田応援団の活用 ・広報、市ホームページ、チラシなど各種媒体を使った周知 ・団員決定・リスト化【目標:200名】 登録団員数:171人(4月末現在) ・オンラインカフェ開催【目標:6回】 第18回　12名参加(4月24日) ・地域・企業課題の収集【目標:10件】 2件(4月末現在) ・団員リストとのマッチング【目標:12事例】 1事例(4月末現在) (3)その他関係団体との連携等 ・出身者会との連携 広島金城会総会(4/18) ひろしまはまだ会総会(5/16) ふるさと浜田の集い(5/18) 関西浜田会総会(6/29) 近畿あさひ会総会 近畿三隅会(10/25) 近畿弥栄会(10/26) 東海島根県人会総会(7/18) 岡山島根会総会(7/25) 在広島島根県人会総会 東京島根県人会総会 ふるさとがご縁を結ぶ近畿島根県人会 ・庁内組織(支所、関係課)等との連携

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	令和4年度		評価	総合評価	令和5年度		評価	総合評価	令和6年度		評価	総合評価	令和7年度	
6	定住推進の取組	「はまだぐらし」を活用した移住・定住希望者の受入サポートの仕組みづくり	実施した内容	○移住・定住希望者の受入サポートの仕組みづくり (1)移住者インタビュー及びQ＆A等の更新 ・情報収集、インタビュー者等選定(4～5月) ・インタビュー、記事作成、サイト掲載(通年) (2)定住サポーターの制度づくり ・定住サポーター制度の検討(4～6月) ・要綱等作成、サイト改修等(7～10月) ・運用開始(11月) はまだぐらしサポーター13名 (3月31日現在)	○ ○	○	実施した内容	移住・定住希望者の受入サポート実施			実施した内容					

No.	項目	目的・目標	令和4年度		評価	総合評価	令和5年度		評価	総合評価	令和6年度		評価	総合評価	令和7年度	
7	浜田市まちなか交流プラザの整備及び運営について	浜田市まちなか交流プラザを、交流拠点として活用する	実施した内容	項目なし			実施した内容	○施設整備 7月30日(日)オープン　来場者88人 ○施設活用 大学生などの若者から高齢者まで世代を超えた多様な市民の交流の場として活用する。 7/31～3/31の施設利用者数 交流スペース:26.5人/日 セミナールーム:195回　計2,411人 年間想定数 セミナールーム　234回3,000人 交流スペース　8,500人 ※令和5年度は、8か月間開設		○	実施した内容	施設活用				

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【地域政策部まちづくり社会教育課、健康福祉部地域福祉課】

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
8	敬老福祉乗車券制度の推進	敬老福祉乗車券の制度周知及び利用促進	実施した内容	令和3年度に見直した制度に基づき事業実施			実施した内容	○敬老福祉乗車券制度の見直し （1）制度の再構築に向けた協議（4～9月） ①公共交通施策（高齢者）と福祉分（障がい者）それぞれの実績に基づく実態把握 ②上記①の実態把握を踏まえ、交通弱者などに配慮した制度への再構築を検討 （2）再構築制度の周知（1～3月） ⇒広報はまだ・ホームページ、チラシ・ポスターで周知（3月）	○ ○	○	計画	令和5年度に見直した制度に基づき事業実施			計画	

【地域政策部まちづくり社会教育課】

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
9	公共交通の再編	より使い易い地域公共交通体系への再編	実施した内容	○公共交通ネットワークの再構築 （1）市生活路線バス及び予約型乗合タクシーの運行見直しに向けた検討 ・高齢者等への意見聴取 ・見直し検討 ⇒ 県立大学との共同研究による高齢者等へのアンケート実施（10～12月） ⇒ 地区まちづくり推進委員会意見聴取（1団体、1月） （2）あいのりタクシー等運行支援事業の利用促進 ・地区まちづくり推進委員会への支援（通年） ⇒ 中山間地域調査研究事業の先進事例視察研修の実施（1月、3月） ・県立大学との共同研究による課題抽出、対応検討（6～3月） （3）1日バス乗車券の利用促進 ・広報はまだへの掲載(5月） ・ケーブルテレビによる周知 ⇒ 探偵社ぷらり(5月)、浜っ子タイムズ(8月） ・ポスター、チラシ掲示依頼(5月)、リーフレット配布 ・販売場所の拡充 ⇒ はまだお魚市場、世界こども美術館（10/1～）	△ ○ △	△	実施した内容	○公共交通の再編 （1）公共交通法定計画の策定及び交通施策の総合的な見直し ①現状分析、ニーズ・地域課題の抽出 ・高齢者等へのアンケート調査、ヒアリング等の実施（9～10月） ②交通施策の見直し ・市生活路線バス・市予約型乗合タクシーの契約更新(令和6年度)に併せた交通手段の見直し検討（10～11月） ③公共交通法定計画の策定 ・法定協議会の設置及び計画の協議（年4回開催：7月、10月、12月、2月） ・交通施策の見直しを計画へ反映 ・パブリックコメントの実施（12～1月） ・計画書の策定（3月） ④法定計画に基づく交通施策の予算確保 （2）あいのりタクシー等運行支援事業の利用促進 ・実施団体へのフォローアップ ・未実施団体への導入支援 ・利用しやすい制度への見直し検討	○ ○	○	計画	○公共交通計画に基づく事業実施 （1） 公共交通事業の実施 ①公共交通の維持 ・補助事業の実施 ・路線維持に向けた取組（乗務員確保等） ②公共交通の利用促進 ・広報、イベント等による周知 ③公共交通活性化協議会の開催 （年3回：7月12日、11月20日、2月12日（利用者部会）） （2） あいのりタクシー等運行支援事業の利用促進 ・実施団体へのフォローアップ ・未実施団体への導入支援 ⇒ 実施済3団体、相談2団体	○ ○	○	計画	○公共交通計画に基づく事業実施 （1） 公共交通事業の実施 ①公共交通の維持 ・乗務員確保に向けた取組推進（補助事業等） ②公共交通の利用促進 ・HP等による情報発信 ・各種団体への出前講座による周知 ③公共交通活性化協議会の開催 （年3回：6月、10月、2月） （2） あいのりタクシー等運行支援事業の利用促進 ・実施団体へのフォローアップ ・未実施団体への導入支援 （3） 新たな交通システムの導入検討 ・新たな交通体系の具体的検討

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【地域政策部まちづくり社会教育課】

No.	項目	目的・目標	令和4年度		評価	総合評価	令和5年度		評価	総合評価	令和6年度		評価	総合評価	令和7年度	
10	協働のまちづくりの評価・検証	協働のまちづくりの推進	実施した内容	項目なし			実施した内容	○協働のまちづくりの評価・検証 (1)協働のまちづくり推進計画の評価・検証 ①協働のまちづくり推進計画の進捗管理 ・計画取組項目の実績とりまとめ(7月) ・協働推進本部での自己点検、検証(7月、8月) ・協働のまちづくり検討部会での評価、検証(8月) ②意識調査の実施 ・市民等意識調査の実施(7月) ・職員意識調査の実施(2月) (2)まちづくりセンターの評価・検証 ①まちづくりセンター利用者及び市民アンケート調査の実施(7月) ②まちづくりセンターへのヒアリング・視察の実施(8月21日) ③評価検証結果報告書(令和6年度)の作成(10月～) ・素案作成、意見交換(11月20日) ・修正案作成、意見交換(2月7日) ・最終案作成(3月) 【参考　令和6年度以降】 ・評価検証結果報告書完成、市へ提出(6～7月) ・市の方針を検討(7月～) ※方針検討にあたっては、議会協働のまちづくり推進特別委員会の提言等を参考とする。	○ ○	○	実施した内容	○協働のまちづくりの評価・検証 (1)協働のまちづくり推進計画の評価・検証 ①協働のまちづくり推進計画の進捗管理 ・計画取組項目の実績とりまとめ(7月) ・協働推進本部での自己点検、検証(9月17日) ・協働のまちづくり検討部会での評価、検証(10月15日) ②意識調査の実施(1月28日～2月12日) ・職員意識調査の実施 ・職員研修の実施 (2)まちづくりセンターの評価・検証 ①評価検証報告書等による市の方向性検討(4月～) 協働推進本部において検討(9月17日) ②サマーレビュー・令和7年度当初予算要求 (3)地区サポーターの活用 ・任用　6人(4月任用:5人、6月任用:1人) ・研修会・意見交換会実施 (5月22日、6月25日、7月30日、8月27日、9月24日、10月31日、11月25日、12月18日、1月27日、2月18日) ・次年度方針検討(～12月) ⇒次年度以降本格実施、令和7年度当初予算要求、令和7年度サポーター増予定 ・活動報告書の作成	○ ○ ○	○	計画	○協働のまちづくりの評価・検証 (1)協働のまちづくり推進計画の評価・検証 ①協働のまちづくり推進計画の進捗管理 ・計画取組項目の実績とりまとめ ・協働推進本部での自己点検、検証 ・協働のまちづくり検討部会での評価、検証 ②意識調査の実施 ・職員意識調査の実施 ・意識調査後のフォローアップ ・職員研修の実施 (2)まちづくりセンターの評価・検証 ①市の方向性に基づく運用方法の策定 ・まちづくりセンター職員の配置転換 (3)地区サポーターの活用 ・任用　10人 ・研修会・意見交換会実施 ・複数団体担当サポーターの検討 ⇒アンケート実施(必要に応じてヒアリング実施)

【地域政策部まちづくり社会教育課】

No.	項目	目的・目標	令和4年度		評価	総合評価	令和5年度		評価	総合評価	令和6年度		評価	総合評価	令和7年度	
11	石見まちづくりセンター(仮称)長沢サブセンター整備について	石見まちづくりセンター(仮称)長沢サブセンターの整備 (令和8年4月供用開始)	実施した内容	項目なし			実施した内容	○石見まちづくりセンター(仮称)長沢サブセンターの整備 (1)施設整備計画検討 ・パブリックコメント実施(～4月) (意見提出:1名16件) ・地元等協議(～6月) ・施設整備計画策定(6月) ・議会方針説明(6月) (2)施設整備 ・令和5年度6月補正予算案上程(6月) ・用地取得及び補償協議(7月～) ・実施設計業務委託(7月～) ・建物設計業務委託契約締結(8月) ・土地売買及び補償費契約締結(2月) ・地元等協議(随時)	○ ○	○	実施した内容	○石見まちづくりセンター(仮称)長沢サブセンターの整備 ・実施設計(～3月) ・施設用地所有権移転(～9月) ・擁壁等工事(～3月) ・地元等協議(随時)		○	計画	○石見まちづくりセンター(仮称)長沢サブセンターの整備 (1)建築工事 ・入札(5月) ・契約締結(5月) ・建築工事(～2月) (2)外構工事 ・入札(10月) ・契約締結(10月) ・外構工事(～3月)

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【健康福祉部健康医療対策課】

	項目	目的・目標	令和4年度		評価	総合評価	令和5年度		評価	総合評価	令和6年度		評価	総合評価	令和7年度	
12	まちをあげた市民の健康づくり	健康なコミュニティの仕組みづくり	実施した内容	○はまだ健康チャレンジ事業（はまチャレ） 実施 (1) 事業周知 ・広報（4月、9月）、ホームページ、チラシの配布 ・はまチャレ普及啓発DVD活用 ・健活事業所、まちづくりセンター、スポーツ施設等関係機関 ・SNS「浜田市健康情報」 ・出前講座や百歳体操等の地域の集まりの場 (2) 市内ウォーキングマップの活用 ・既存のウォーキングマップやウォーキング大会の紹介 ・おすすめコースランキングの実施 集計結果をホームページに掲載 ・すこやか員・食改等健康づくりボランティア組織やまちづくりセンター等との連携 (3) グループエントリー実施 ・対象：3人以上のグループ ・応募数　1期36G、2期38G、3期40G (4) ポイント応募者への対応 ・抽選会の実施（3期実施） 1期（4月～6月）、2期（7月～9月） 3期（10月～1月） （各期：100名、15グループ） ・はまチャレ応援賞（健康増進に関する連携協定企業より協賛） R4年度 応募総数　延べ3,110名、 実人数 517名 【内訳】 ・1期応募数 延べ965名（一般677名、職員288名） 実人数390名（一般283名、職員107名） ・2期応募数 延べ　964名（一般708名、職員256名） 実人数　374名（一般276名、職員98名） ・3期応募数 延べ1,181名（一般：987名、職員194名） 実人数395名（一般：308名、職員87名） (5) 効果的な事業実施に向けての検討 ・データのまとめ ・検討会の実施	○ △ ○ △ ○	△	実施した内容	○はまだ健康チャレンジ事業（はまチャレ） 実施 (1) 事業周知 ・広報（4月）、ホームページ、チラシの配布 ・まちづくりセンター、健活事業所、商工会・商工会議所 スポーツ施設等関係機関　他 ・SNS「浜田市健康情報」 ・出前講座や百歳体操等の地域の集まりの場 ・はまチャレ応募者の歩数や取組参加者感想・効果について、事業周知とあわせて実施 ・浜田市ホームページ上に、エクセルデータを添付して提出できる二次元バーコードを掲載 (2) 市内ウォーキングコースの紹介 ・既存のウォーキングマップの紹介 ・市民からのお勧めウォーキングコースの紹介 (3)健康ポイント応募者への対応 ・抽選会の実施（3期実施） 1期（4月～6月） 平均歩数男性8,151歩　女性6,271歩 応募延数795名（実人数325名） はまチャレ賞100名 はまチャレ応援賞26名 8/9賞品発送・HP公表 2期（7月～10月） 平均歩数男性8,189歩　女性6,230歩 応募延数939名（実人数273名） はまチャレ賞100名 はまチャレ応援賞18名 12月初旬賞品発送・HP公表 3期（11月～1月） 平均歩数男性歩8,209歩　女性6,052歩 応募延数683名（実人数258名） はまチャレ賞100名 はまチャレ応援賞18名 3月賞品発送・HP公表 総計（1～3期で重複者を除いた合計） 平均歩数男性7,992歩　女性6,090歩 応募延数2,937名（471名） ・はまチャレ応援賞 事業所等への募集（広報6月号） 連携協定企業からの提供　62個	○ ○ ○	○	実施した内容	○はまだ健康チャレンジ事業（はまチャレ） 実施 (1) 事業周知 ・広報（4月）、ホームページ、チラシの配布 ・従来の周知先に加え、産業保健センター、協会けんぽ・地域職域連携会議等と連携して職域への周知先を増やす ・各種健(検)診会場でのチラシ配布 ・SNS「浜田市健康情報」、ロゴフォームによる応募の周知などwebの活用 ・出前講座やサロン、各地域のまつり・フェスタ等イベントでの周知 ・広報(9月号)で取り組んでいる人やグループを紹介 (2) 市内ウォーキングコースの紹介 ・既存のウォーキングマップの紹介 ・応募者からおすすめコース募集 (3)健康ポイント応募者への対応 ・各種健（検）診受診により月30ポイントの加算 ・抽選会の実施（3期実施） 1期（4月～6月） 平均歩数　男性7,862歩　女性6,244歩 応募延数784名（実人数300名） 新規参加者64名（R5応募なし） はまチャレ賞100名 はまチャレ応援賞30名 8/8商品発送・HP公表 2期（7月～9月） 平均歩数　男性7,813歩　女性6,110歩 応募延数683名（実人数257名） 新規参加者54名（R5応募なし） はまチャレ賞100名 はまチャレ応援賞30名 11/15商品発送・HP公表 3期（10月～1月） 平均歩数　男性7,161歩　女性5,954歩 応募延数1022名（実人数305名） 新規参加者126名（R5応募なし） はまチャレ賞100名 はまチャレ応援賞29名 3/7商品発送・HP公表 総計（1～3期　合計　一般のみ） 応募総数2,471名、実人数380名（重複者除く） ・はまチャレ応援賞 事業所等への広報による募集 連携協定企業からの提供	○ ○ ○	○	計画	○はまだ健康チャレンジ事業（はまチャレ） 実施 (1) 事業周知 ・広報、ホームページ、チラシの配布 ・ まちづくりセンター、商工会議所、スポーツ施設等市内関係機関で周知 ・各種健(検)診会場でのチラシ配布 ・SNS「浜田市健康情報」、ロゴフォームによる応募周知などwebの活用 ・出前講座やサロン、各地域のまつり・フェスタ等イベントでの周知 (2) 市内ウォーキングコースの紹介 ・既存のウォーキングマップの紹介 ・応募者からおすすめコース募集 (3)健康ポイント応募者への対応 ・抽選会の実施（3期実施） 1期（4月～6月） 2期（7月～9月） 3期（10月～1月） ・インセンティブ ①はまチャレ賞　浜田市共通商品券2000円分各期100名 ②はまチャレ賞に外れた方の中から抽選で賞品等提供 ・はまチャレ応援賞 はまチャレ応援企業募集（広報6月号） ・はまチャレ始めました賞 初めての参加、令和5、6年応募がなく今年度参加した人　記念品贈呈　計60名 ・敬老入浴券1冊（6回分）贈呈 70歳以上の希望者　各期20名　計60名 ○運動の実践につながる取組 ・「はまチャレTIME」周知 陸上競技場に横断幕設置 ポスター、チラシ等で周知 ・ウォーキング大会の把握と支援 各まちづくりセンターのウォーキング大会等へ健康づくり応援品提供（飲料水） （連携協定企業より提供） ○運動の効果や重要性に関する普及啓発 ・ウォーキングの効果等について周知 ・出前講座等で啓発 ・しまねMAMEインフォ活用

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

12	まちをあげた市民の健康づくり	健康なコミュニティの仕組みづくり	実施した内容				実施した内容	○運動の実践につながる取組 ・7/20から「はまチャレTIME」開始 陸上競技場に横断幕設置 ポスター・チラシ ・ウォーキング大会の把握と支援 まちづくりセンターでのウォーキング大会の支援品送付（10か所） ・まちづくり活動団体との連携（情報収集・連携協定からの参加賞提供） ○運動の効果や重要性に関する普及啓発 ・広報（4月号）、ホームページ、チラシ SNS ・出前講座等での啓発 ・ウォーキングの効果とポイントチラシ作成配布 ・12/17（日）食育フェスタin浜田にて、歩幅の測定及びウォーキングの効果・効果的な歩き方の周知	○ ○	○	実施した内容	○運動の実践につながる取組 ・「はまチャレTIME」周知 陸上競技場に横断幕設置 ポスター・チラシ ・ウォーキング大会の把握と支援 まちづくりセンターでのウォーキング大会の支援品送付 ・県謎解きウォークラリーしまねクエスト協賛 ・まちづくり活動団体との連携（情報収集・連携協定企業からの参加賞提供） ・歩数計の配布 ・はまチャレ測定会実施　令和7年2月6日（木） 対象：R4.5.6年度各期に継続して参加した人　94名 体組成計、骨密度測定、グループワーク等 ○運動の効果や重要性に関する普及啓発 ・広報（4月号）、ホームページ、チラシ SNS ・出前講座等での啓発 ・ウォーキングの効果・ポイントのチラシ配布 ・食育フェスタin浜田等での周知・歩幅測定	○ ○	○	計画	

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【健康福祉部子ども・子育て支援課】

No.	項目	目的・目標	令和4年度	評価	総合評価	令和5年度	評価	総合評価	令和6年度	評価	総合評価	令和7年度
13	子どもを安心して産み育てる環境の充実	放課後児童クラブ民間委託の検討（全20か所のうち直営の14か所の民間委託）	○放課後児童クラブの運営の民間委託 （1）放課後児童クラブの民間委託の検討 ・市内の保育所等に対し、運営の意思確認等を行う。 ⇒令和4年11月に市内で保育所等の運営を行っている社会福祉法人へ意向調査を実施し、2法人に受託の意向があることを確認することができた。		△	○放課後児童クラブの運営の民間委託 （1）放課後児童クラブの民間委託の検討 ・民間委託する放課後児童クラブを1か所程度選定する。 ⇒やさか児童クラブの民間委託を決定した。 8/8 保護者説明会 8～10月公募（10/20 プロポーザル審査会） (2)雲雀丘小学校統廃合に伴う、放課後児童クラブの円滑な移行の実施 ・委託先と連携し、通学バス対応や生活環境の変化等に対応 ⇒児童同士の交流会を実施(7/26、3/25) 入会児童数が定員を超え、居住地区別に受入施設を分けて対応したため、交流した児童が一緒に活動する時間が減少 (3)石見小校区の3か所を除く4校区6か所の放課後児童クラブについて、令和11年度までに民間委託を実施 ⇒順次、民間委託を進めるためのスケジュール案を検討した。	（1）○ （2）△ （3）○	△	○放課後児童クラブの運営の民間委託 （1）石見小校区の3か所を除く4校区6か所の放課後児童クラブについて、令和11年度までに民間委託を実施する。 ※令和6年度 直営クラブ5校区9か所 委託クラブ9校区10か所 ⇒令和6年度から、やさか児童クラブの民間委託を開始		○	○放課後児童クラブの運営の民間委託 （1）石見小校区の3か所を除く4校区6か所の放課後児童クラブについて、令和11年度までに民間委託を実施する。 ・民間委託する放課後児童クラブを1校区選定する。
		父親の育児参加を促進する取組の実施	項目なし			○父親の育児参加を促進する取組の実施 （1）父親の育児参加状況の把握 ・アンケート内容の検討 ・小学生以下の保護者を対象にアンケートを実施 （2）父親の育児参加促進策の検討	（1）△ （2）△	△	○父親の育児参加を促進する取組の実施 （1）父親の育児参加状況の把握 ・アンケート内容の検討 ・小学生以下の保護者を対象にアンケートを実施 ⇒こども計画作成に伴うアンケートで父親の育児参加状況を把握 （2）父親の育児参加促進策の検討 ・「ママパパ学級」や子育てに関する講座等の充実 ⇒父親が参加しやすい土曜日の開催増 ⇒父親と子どもを対象に「クッキング」を企画	（1）○ （2）○	○	○父親の育児参加の促進 （1）子育て世代包括支援センターにおける父親の利用促進 父親がより利用しやすくなるような講座内容の工夫 ・「ママパパ学級」の充実 ・子育てに関する講座等の充実 （父子対象講座実施等） ・参加者アンケートによるニーズ把握
		児童手当制度改正への対応	項目なし			項目なし			○児童手当制度改正への対応（児童手当支給対象拡充） （1）システム改修 ⇒改修し、対象者を抽出 （2）拡充に伴い新たに支給対象となった者への申請勧奨 ⇒9月 申請勧奨送付 （3）制度改正後の支給開始 ⇒12月 制度改正後の支給開始（10月分）	（1）○ （2）○ （3）○	○	児童手当支給

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【市民生活部環境課カーボンニュートラル推進室】

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
14	地球温暖化対策	2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現	実施した内容	○市民と共に学ぶ環境づくり事業 (1)スマホアプリの導入 ⇒「ごみ分別アプリ」にクイズ・スタンプラリー機能を追加 、ポイント交換業務開始(3/27) (2)配信動画の作成 ⇒ はまだエコスクール3回放送(1/27、2/27、3/26) (3)推進組織の構築 ⇒R4.8.1設置、第2回推進本部会議の開催 (4)ゼロカーボンシティ表明 ⇒ 9月1日表明、ロゴマーク募集、応募13件 ⇒ロゴマーク表彰式、バックパネル作成 (5)温暖化対策実行計画の改定 ⇒ R5国庫補助事業を予定 ⇒プロポーザル事業者の選定 (6) 総務省専門人材招へい事業 ⇒11/11交付決定、計14回の活動を実施済	(1)△ (2)○ (3)○ (4)○ (5)○ (6)○	○	実施した内容	○市民と共に学ぶ環境づくり事業 (1)スマホアプリのポイント交換 ⇒ポイント交換者累計142名(4/4時点) (2)エコスクール番組配信(年6本) ⇒はまだエコスクール毎月放送(再放送6本、新作6本) (3)市民・事業者への研修・講演会 ⇒第1回環境講演会約70名7/28 ⇒第2回環境講演会約80名10/3 ⇒第3回環境講演会約70名11/10 ⇒再エネセミナー約50名1/20 ⇒出前講座約20名11/15 ⇒出前講座約20名2/21 (4)カーボンニュートラル施策の監理業務支援委託 ⇒脱炭素施策について専門家に助言や提言等の支援を受ける協議を毎月開催	(1)△ (2)○ (3)○ (4)○	○	実施した内容	○市民と共に学ぶ環境づくり事業 (1)スマホアプリによる啓発 ・脱炭素クイズの更新でポイント付与 ・海洋プラ再生ボールペンの記念品 ⇒クイズ3回配信中 (2)CATV番組による啓発 ・地元CATV協働制作番組を毎月放送(新番組6本、再放送6本) ・番組をネット配信しポイント付与 (3)出前講座・研修会・講演会による啓発と協働 ・研修会、講演会、出前講座の開催 ⇒エコライフ推進隊総会研修会 40人 ⇒浜田JC例会研修会 25人 ・市民団体との協働(石炭灰の利活用) (4)カーボンニュートラル施策の監理支援業務委託 ・専門家による市脱炭素施策の監修 ⇒4～3月定例協議済 (5)浜田地域脱炭素推進協議会の設立 ・民間主導で事業者・県大・行政との協議会 ⇒ 脱炭素コンソーシアム講演会 55人	(1)△ (2)○ (3)○ (4)○ (5)○	○	計画	○市民と共に学ぶ環境づくり事業 (1)スマホアプリによる啓発 ・脱炭素クイズの更新でポイント付与 ・動画視聴でポイント付与 ⇒クイズを更新し景品をリニューアル (2)CATV番組による啓発 ・地元CATV協働制作番組を毎月放送(新番組6本、再放送6本)ネット配信 ⇒エコドライブ番組を制作中 (3)出前講座・研修会・講演会による啓発 ・研修会、講演会、出前講座の開催 ⇒福祉環境委員会で脱炭素とごみの勉強会8人 (4)カーボンニュートラル施策の監理支援業務委託 ・専門家による市脱炭素施策の監修 ⇒4月、5月定例協議 (5)民間組織や市民団体と協働 ・民間主体の協議会や市民団体との協調事業 ⇒エコライフ推進隊総会で環境カウンセラー講話45人
				○地域の再生可能エネルギー導入支援事業 (1)再生可能エネルギー設備等導入支援事業補助金制度 ①住宅用太陽光発電設備 ②蓄電池設備 ③太陽熱利用設備 ④木質バイオマス熱利用設備 ⑤林地残材集積装置 ⑥畜産バイオマス利活用設備 ⇒R4実績:21件、5,588,000円 ⇒R5予算:41件、8,520,000円		○		○地域の再生可能エネルギー導入支援事業 (1)再生可能エネルギー設備等導入支援事業補助金制度 ①住宅用太陽光 9件 ②蓄電池 17件 ③太陽熱利用 0件 ④木質バイオマス 4件 ⑤林地残材集積装置 0件 ⑥畜産バイオマス利活用設備 0件 計 30件(4,960,000円) (2)若者支援(39歳以下に上乗せ補助) ①住宅用太陽光 4件 ②蓄電池 6件 ③太陽熱利用 0件 ④木質バイオマス 2件 計 12件(4,128,000円)	(1)○ (2)○	○		○地域の再生可能エネルギー導入支援事業 (1)再エネ設備の導入支援補助金 ①住宅用太陽光 ②蓄電池 ③太陽熱利用 ④木質バイオマス ⑤畜産バイオマス利活用設備 ⇒ エネファーム補助要綱改正 (2)若者支援事業(39歳以下に上乗せ補助) ①住宅用太陽光 ②蓄電池 ③太陽熱利用 ④木質バイオマス ⇒ エネファーム補助要綱改正	(1)△ (2)○	△		○地域の再生可能エネルギー導入支援事業 (1)再エネ設備の導入支援補助金 ①住宅用太陽光 ②蓄電池 ③太陽熱利用 ④木質バイオマス ⑤エネファーム (2)若者支援事業(39歳以下に上乗せ補助) ①住宅用太陽光 ②蓄電池 ③太陽熱利用 ④木質バイオマス ⑤エネファーム

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

14	地球温暖化対策	2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現	実施した内容	○公共施設への再生可能エネルギー導入事業 (1)7号荷さばき所PPA事業 ⇒ケーブル敷設・パネル取付工事中 製氷工場への通電5月、EV充電器設置8月 ⇒竣工式(3/28) (2)PPA事業の推進 ⇒R5国庫補助事業を活用して公共施設調査を実施予定(R4プロポーザル) コンサルタント会社数社と協議中 12月議会債務負担行為25,000千円 ⇒選定審査会、公募型プロポーザル公告、プロポーザル事業者選定(3/22) (3)その他公共施設への再エネ導入支援 ⇒次期PPAは、総合福祉センターの駐車場にソーラーカーポートを設置し、EV自動車を昼間は公用車として休日夜間は県大生や市民に貸し出すカーシェアリングする事業を検討中 (次年度の計画づくりの中で検討)	○ ○ ×	△	実施した内容	○公共施設への再生可能エネルギー導入事業 (1)再エネの最大限導入計画づくり ①浜田市地球温暖化対策実行計画 「区域施策編」(国庫補助) ⇒1/31計画書完成 ②浜田市地球温暖化対策実行計画 「事務事業編」(市単独) ⇒1/31計画書完成 ③浜田市公共施設等への太陽光設備等の導入調査事業(国庫補助) ⇒1/31調査報告書完成 (2)公共施設へのEV充電器無償設置事業 (民間事業者によるEV普通充電器の無償設置と維持管理事業) ⇒テラチャージ㈱と包括連携協定の締結 ⇒R6年度から設置予定(8か所20基)	○ ○ ○	○	実施した内容	○公共施設への再生可能エネルギー導入事業 (1)公共施設への太陽光設置事業 ・太陽光を設置する施設を検討 ・設置計画や事業者の選定方法を検討 ⇒ 市教委と検討(中央図書館、給食センター) (2)公共施設への再エネ由来電源の調達事業 ・非化石証明電源を導入する施設を検討 ・電源調達する事業者の選定方法を検討 ⇒ 浄苑、不燃ごみ処理場を対象に3社によるリバースオークションを実施 ⇒ 神楽電力が落札・電力契約 ⇒ 中国電力と協議中 (3)公共施設の省エネ改修LED照明導入事業 ・省エネ改修やLED導入の整備施設の検討 ・設置計画や事業者の選定方法を検討 ⇒ 本庁舎、消防本部、三隅支所を予算化 R7学校等のLED化を検討 (4)公用車のEV導入とEV環境整備事業 ・公用車EVの導入及びカーシェアリングを検討 ・EV導入方法や事業者の選定方法を検討 ⇒ R7に事業を検討、県大と連携協議 ・来客用EV充電器を施設に順次整備 ⇒ R6年6所10基工事完了 ⇒ R7年5所19基検討、申請準備 (5)公共の新築建物のZEB Ready事業 ・新築予定建物のZEB Ready整備を検討	△ ○ △ △ △	△	計画	○公共施設への再生可能エネルギー導入 (1)公共施設への太陽光設置事業 ・中央図書館、給食センターの具体検討 ・PPA事業者の選定方法を検討 ⇒市教委と協議中 (2)公共施設への再エネ由来電源の調達 ・R7年度 浄苑、不燃ごみ、埋立処分場に ・中国電力からの導入を交渉 ・公共施設への電源調達方針の策定 ⇒10月から水道部245施設に導入予定 (3)公共施設の省エネ改修LED照明導入 ・R7年度 本庁舎、消防本部、三隅支所 ・小中学校等での導入方法を検討 ⇒市教委に見積先を提案 (4)公用車のEV導入とEV環境整備 ・協定書に基づくEV充電器の設置 ・R7年度 5か所19基を設置予定 ⇒5か所19基を手続き中 (5)公共の新築建物のZEB Ready事業 ・新築予定建物のZEB Ready整備を検討 ⇒新規案件を模索中

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部商工労働課】

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
15	BUY浜田運動	BUY浜田運動の浸透及び定着	実施した内容	○BUY浜田運動の推進 （1）認知度の向上 ①BUY浜田昼市の開催 ・各産業祭でのDVD放映 ・3/25・26ゆうひパーク浜田で開催 （はまだお魚市場でも同時開催） ②認知度等アンケート調査 ・取扱店舗ヒアリング（6～7月・10店舗） ・市民アンケート（1～2月） 実施概要：1～2月（8店舗＋WEB、686人） アンケート結果 「知っている」28.3% （前年度△0.6ポイント） 「聞いたことがある」33.1% （前年度＋5.9ポイント） 「知らない」38.6% （前年度△5.4%） ③運動拡大の取組 ・はまだお魚市場、ゆめタウン浜田店でのPR活動 ・石見ケーブルビジョンでの事業紹介 （2）運動グッズ等による啓発活動 ①取扱店での啓発 ・BUY浜田対象商品PRの検討 ・シール活用の検討 ②テーマソング動画の活用 ・浜っ子タイムズ（6月） ・小売店等の店頭での動画放映 ・産業祭での動画放映 ③幼保・小中学校への啓発 ・幼保・・・ダンス活用（BB大鍋フェスティバル、旭ふるさとまつり、みすみフェスティバル） ・小中学校・・・地産地消学習（波佐小、旭小、浜田東中） （3）電子地域通貨の導入検討 ①県立大学との共同研究の実施 ②中国経済産業局との勉強会の開催（1/23・24）	△ ○ △	△	実施した内容	○BUY浜田運動の推進 （1）認知度の向上 ①BUY浜田昼市の開催（2回程度開催予定） ⇒9/9、10南極観測船「しらせ」一般公開イベントに合わせて実施 ⇒9/17ベルガロッソいわみと共催で実施 ②認知度等アンケート調査 （6～7月実施予定） ⇒・取扱店ヒアリング（6～7月・10店舗） ・市民アンケート（6～7月） 実施概要：6～7月（8店舗＋WEB、657人） アンケート結果 「知っている」25.6% （前年度△2.7ポイント） 「聞いたことがある」33.8% （前年度＋0.7ポイント） 「知らない」40.6% （前年度+2.0%） ③運動拡大の取組 ・石見ケーブルビジョンとの連携 ⇒9/19浜っ子タイムズにて放映 ・広報はまだによる周知（年4回実施予定） BUY浜田運動の特集記事掲載（5月） ⇒5月、8月号、11月号、1月号掲載 （2）運動グッズ等による啓発活動 ①取扱店での啓発 ・BUY浜田対象商品PRの検討 ・シール活用の検討 ②テーマソング動画の活用 ・小売店等の店頭での動画放映 ・イベントでの活用検討 ・各種産業祭での動画放映 （金城、旭、三隅） ③幼保・小中学校への啓発 ・幼保・・・ダンス活用 ・小中学校・・・地産地消学習の実施 ⇒7/19 松原小、9/15国府小、9/27弥栄中、10/4原井小、11/13三隅小、11/21金城中、1/24浜田東中 （3）電子地域通貨の導入検討 ①ワーキング会議の設置 ・検討メンバーの選定 ・先行事例の調査・研究 ⇒デジタル技術を活用した地域課題解決案の提案会 （経済産業局・総合通信局主催 7/26、27） ⇒講演会開催（『キャッシュレス決済・地域通貨 などによる地域経済活性化について』 8/21） ⇒講座・意見交換会の開催（『スマートシティに向けた取組』12/4） ⇒意見交換会・検討会の開催（スマートシティ（電子地域通貨を包含）の意見交換・検討会2/1）	△ ○ △	△	実施した内容	○BUY浜田運動の推進 （1）認知度の向上 ①各種産業祭・イベントへの参加 ⇒7/7ふくふく交換会、 9/29食育フェスタ、各種産業祭（金城、旭、弥栄、三隅） ②認知度等アンケート調査（11月頃実施） ⇒ ・取扱店ヒアリング（6月～7月・9店舗） ・市民アンケート（6月～7月） 実施概要：6～7月（8店舗＋WEB、509人） アンケート結果 「よく知っている」25.9% （前年度+0.3ポイント） 「聞いたことがある」32.2% （前年度△1.6ポイント） 「あまり知らない」11.2% （今年度より項目に追加） 「知らない」30.7% （前年度△9.9ポイント） ③運動拡大の取組 ・石見ケーブルビジョンとの連携 ⇒インフォメーションによる放映 ・広報はまだへのBUY浜田運動の特集記事掲載による周知（5、8、11、2月） ⇒5月号、8月号、11月号、2月号掲載 （2）運動グッズ等による啓発活動 ①取扱店での啓発 ・BUY浜田対象商品PRの検討 ・シール活用の検討 ②テーマソング動画の活用 ・小売店等の店頭での動画放映 ・イベントでの活用検討 ③幼保・小中学校への啓発 ・幼保・・・ダンス活用 ・小中学校・・・地産地消学習の実施 ⇒9/11 国府小、9/30美川小、10/1長浜小、10/4原井小、10/10三階小、1/29東中、1/29金城中、1/30弥栄中、1/31雲城小、2/4三隅中、2/14今福小 ○デジタル技術を活用した地域経済活性化の検討 ①意見交換会・検討会の開催 ・先行事例の調査・研究 ⇒セミナーの開催 （「地域DXの進め方」2/28） ②協議会準備会組織の組成 ⇒民間主導で協議会が組成され、協議会内にDX 推進のためのコンソーシアムが立ち上がった。 今後、必要に応じた連携をしていく。	△ ○ ○	△ ○	計画	○BUY浜田運動の推進 （1）認知度の向上 ①各種産業祭・イベントへの参加 ⇒6/1ベルガロッソイベント ②運動拡大の取組 ・石見ケーブルビジョンとの連携 （広報用番組の制作及び周知PR） ⇒市内スーパーで小学生の地元産品購入に関するイベント番組を計画中 ・広報はまだへのBUY浜田運動の特集記事掲載による周知（6、8、11、2月） （2）運動グッズ等による啓発活動 ①取扱店での啓発 ・BUY浜田対象商品PRの検討 ・シール活用の検討 ②テーマソング動画の活用 ・小売店等の店頭での動画放映 ・イベントでの活用検討 ③幼保・小中学校への啓発 ・幼保・・・ダンス活用 （ダンスお披露目会の開催） ⇒6/1ベルガロッソイベントで、うみかぜこども園と島根県立大学生によるBUY浜田ダンス披露 ・小中学校・・・地産地消学習の実施 ⇒各校へアンケートを行い、12校での開催を準備中

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	令和4年度		評価	総合評価	令和5年度		評価	総合評価	令和6年度		評価	総合評価	令和7年度	
16	事業承継・創業支援対策	事業承継の推進 ・事業承継相談カルテを200社作成(令和3年度までの累計)	実施した内容	○事業承継の推進 (1)事業承継推進策の検討 ①事業承継推進会議の開催 ・年2回開催(9/20・3/16開催) ②事業承継サポート窓口の活用 ③事業承継相談会の実施(随時) ・8/8個別相談会、1/27個別相談会(市が主催)を開催 ・会議所・商工会は個別相談会を毎月開催 ④事業承継セミナーの開催 ・11月22日開催(商工会議所主催) (2)地域おこし協力隊制度の活用 ①後継者マッチング支援事業 ・1名 活動中(R5年4月末任期満了) ・1名 4月1日着任予定 ②料理人等人材育成支援事業 ・2名活動中	○ ○	○	実施した内容	○事業承継の推進 (1)事業承継推進策の検討 ①事業承継推進会議の開催 ・年2回開催予定 ⇒9/29開催、3/19開催 ②事業承継サポート窓口の活用 ③事業承継相談会の実施(随時) ・8/10個別相談会 ・1/23個別相談会 ④事業承継セミナーの開催 ・1月頃開催予定(会議所が主催) ⇒2/19開催 (2)地域おこし協力隊制度の活用 ①後継者マッチング支援事業 ・1名任期終了(4月末) ・1名活動中 ②料理人等人材育成支援事業 ・2名活動 ⇒1名辞退(5/15)	○ ○	○	実施した内容	○事業承継の推進 (1)事業承継推進策の検討 ・10/18金融機関・商工団体担当者向けセミナーを実施 ①事業承継推進会議の開催(年2回) ・8/8、2/12開催 ②事業承継サポート窓口の活用 ③事業承継相談会の実施(年2回) ・7/12、2/3個別相談会 ④事業承継セミナーの開催 ・1月頃開催予定 (会議所が主催) ・2/20開催 (2)地域おこし協力隊制度の活用 ①後継者マッチング支援事業 ・1名活動中 ②料理人等人材育成支援事業 ・1名活動中	○ ○	○	計画	○事業承継の推進 (1)事業承継推進策の検討 ①事業承継を含めた推進会議の開催 ②事業承継サポート窓口の活用 ③事業承継相談会の実施(年2回) ④事業承継セミナーの開催 ・1月頃開催予定(会議所が主催) (2)地域おこし協力隊制度の活用 ①後継者マッチング支援事業 ・1名活動中 ②料理人等人材育成支援事業 ・1名任期終了(5月末)
		起業・創業者数の増加 ・年間33件以上	実施した内容	○起業・創業支援 (1)起業セミナーの開催 ①女性向けプチ創業セミナーの開催 ・4回コース(8/27、9/10、9/23、9/24) ・参加者11名 ②シニア・若者向けセミナーの開催 ・【基礎編】2回コース(10/15、10/22) ・【ビジネスプラン作成編】5回コース(11/5、11/12、11/19、11/26、12/3) ・参加者12名 (2)起業家のフォローアップ ①起業間もない方への伴走支援 ・市内事業者と委託契約を締結 ②起業予備軍の掘り起こし ・3/4～5起業準備セミナーの開催 起業・創業者数19件	○ ○	○	実施した内容	○起業・創業支援 (1)起業セミナーの開催 ①女性向け創業セミナーの開催 ・4回コース(9/9、9/16、9/30、10/1) ・参加者12名 ②起業家育成セミナーの開催 ・7回コース(10/14、10/21、11/4、11/11、11/18、11/25、12/2) ・参観者21名 ③チャレンジショップの設置検討(5～6月) ・商店街の状況調査実施 ⇒1回目 6月 ④高校生・大学生向けイベントの実施 ・アントレプレナーシップ育成講座 浜田商業高校生(2年生)28名 11月～2月まで計10回の講座実施 2/13発表会 (2)起業家のフォローアップ ①起業間もない方への伴走支援 ・市内事業者に委託(5～6月) ⇒6月契約締結 ②起業予備軍の掘り起こし ⇒3/16、3/23開催	○ ○	○	実施した内容	○起業・創業支援 (1)起業セミナーの開催 ①プチ創業セミナーの開催 ・4回コース(8/31、9/7、9/14、9/15) ・参加者13名 ②起業家育成セミナーの開催 ・7回コース(10/5、10/12、10/26、11/2、11/9、11/16、11/23) ・参加者18名 ③高校生・大学生向けイベントの実施 アントレプレナーシップ事業 ⇒浜田商業高校(2年生)23名 (2)起業家のフォローアップ ①起業間もない方への伴走支援 ・市内事業者と委託契約を締結 ②起業予備軍の掘り起こし ・7/28しまね産業振興財団による起業希望者セミナーを開催 ・参加者8名	○ ○	○	計画	○起業・創業支援 (1)起業セミナーの開催 ①プチ創業セミナーの開催 ②起業家育成セミナーの開催 ③高校生・大学生向けイベントの実施 アントレプレナーシップ事業 ⇒島根県立大学生と浜田商業高校3年生との高大連携による合同授業開始 (2)起業家のフォローアップ ①起業間もない方への伴走支援 ②起業予備軍の掘り起こし

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
17	道の駅ゆうひパーク浜田	民間活力を活用したR8年4月リニューアルオープン	実施した内容	項目なし			実施した内容	〇道の駅ゆうひパーク浜田のリニューアル (1)リニューアル基本方針の策定 ①方針作成 (2)事業者選定支援等アドバイザリー業務委託の実施 (R5年10月～R7年3月の複数年で実施) 9月締結：㈱福山コンサルタント ①市民・利用者ニーズ調査(12月実施済み) 市民アンケート(無作為抽出配布)：636人/1650人 (回収率38.5%) 道路利用者アンケート(WEB調査)：493人 ②サウンディング型市場調査(11～5月実施中) 紙面サウンディングで「意欲的」であると回答した5社に対面サウンディングを実施(1月中) ⇒2月以降、企画提案の可能性の高い事業者に再度ヒアリングを実施 ③ゆうひ公園の一体的活用における協議・調整 (1～3月実施) ④事業スケジュールの構築(作成中)、公募書類一式の検討及び作成(2～5月実施予定) ⇒5月末～6月末に公募開始予定 (3)国交省との協議・調整 ①浄化槽・上水給水ポンプの修繕 ⇒令和7年度中の実施に向けて国交省と調整中 ②土地の無償譲渡 ⇒サウンディング市場調査及び提案内容を踏まえ国交省と協議	(1)〇 (2)〇 (3)△	〇	実施した内容	〇道の駅ゆうひパーク浜田のリニューアル (1)事業者選定支援等アドバイザリー業務委託の実施 契約期間：R5年9月28日～R7年3月31日 委託事業者：㈱福山コンサルタント ①サウンディング型市場調査(R5年11月～R6年5月実施) 紙面サウンディングで「意欲的」であると回答した5社に対面サウンディングを実施(R6年1～5月) ②公募書類一式の検討及び作成(R6年4月～実施予定) ③優先交渉事業者の公募・選定及び契約締結に係る支援(事業者決定後) ⇒9/10公募開始、2/7優先交渉権者を決定 (2)国交省との協議・調整 ①浄化槽・上水給水ポンプの修繕 ⇒令和7～8年度中の実施に向けて国交省と調整中 ⇒上水道については、令和7年度中の実施に向けて国交省と調整中 ②土地の無償譲渡 ⇒サウンディング市場調査及び提案内容を踏まえ国交省と協議	(1)〇 (2)△	〇	計画	〇道の駅ゆうひパーク浜田のリニューアル (1)優先交渉権者との調整 〇国交省との協議・調整 ①上水給水ポンプの修繕(令和7年度中の実施) ⇒国交省と調整中 ②浄化槽・受水槽の修繕(令和10年度以降の実施) ⇒国交省と調整中

【産業経済部産業振興課】

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
18	事業者ヒアリングの結果を受けた対策(商品開発、販路開拓の支援など)	販路拡大へ向けた商材開発・販路チャンネルの拡大	実施した内容	〇商品開発・商品改良 (1)事業者参加ビジネス交流会「オール浜田企画部」においてテーマ設定し開催 ・実践を踏まえた講師を迎え、セミナーを開催 ・パッケージデザイン改良、既存商品のブラッシュアップ等 ⇒「販路拡大のための商品改良・開発プログラム」(7月～1月、全4回)実施予定 第1回　7月13日・14日実施 第2回　9月13日実施 第3回　11月10日、17日実施 第4回　1月16日実施		〇	実施した内容	〇商品開発・商品改良 (1)食品製造事業者を対象に、商品のブラッシュアップや情報発信・販売促進の方法について再検討してもらう場面を提供する。 ⇒「商品改良・開発プログラム」実施予定 ・セミナー開催 第1回　8月30日　セミナー「新商品づくりについて」 食品製造9社11名参加 第2回　10月27日　セミナー「SNS発信について」 ・商品開発サポート 伴走支援…3社 ・販路拡大支援		〇	実施した内容	〇商品開発・商品改良 (1)食品製造事業者を対象に、商品のブラッシュアップや情報発信・販売促進の方法について再検討してもらう場面を提供する。 ⇒「商品改良・開発プログラム」実施予定 ・セミナー開催　2回 第1回　10月9日　セミナー「新商品づくりについて」 第2回　11月7日　セミナー「コンセプトの立て方とブランディングについて」 ・商品開発サポート 伴走支援…3社 ・販路拡大支援		〇	計画	〇商品開発・商品改良 (1)食品製造事業者を対象に、経営改善の場面提供 (専門家や消費者意見のヒアリング等を通じた商品ブラッシュアップ、情報発信、販売促進方法の再検討など) ・セミナー、意見交換会の開催 ・個別相談
				〇販路拡大 (1)バイヤー招聘・商談会 4月　関東1社 7月　関東1社、関西1社 8月　関東1社 9月　関東2社 1月　関東4社、広島1社、県内3社 3月　四国1社 (2)WEB商談会 都内飲食店オーナーへのマッチング企業と協働企画　⇒10月20日実施 (3)ネット販路の拡大 (ECポータルサイトの紹介) (4)フェア・見本市等出展支援 ビジネスフェア中四国2023出展補助7社 (5)WEB版特産品ガイドの掲載商品情報更新 ⇒「2022」表示対応済み ・令和4年度　販路拡大支援による取引実績 172,301千円(前年比23,380千円増)	(1)〇 (2)〇 (3)〇 (4)〇 (5)〇	〇		〇販路拡大 (1)バイヤー招聘・商談会(WEB商談含む) 5月　関東1社 7月　関東1社 9月　関東2社、関西1社、四国1社 11月　中国1社 3月　関東2社、中国1社 (2)ネット販路の拡大(ECポータルサイトの紹介) (3)フェア・見本市等出展支援 ビジネスフェア中四国2024出展補助4社 各種見本市等出展経費補助12社 (4)WEB版特産品ガイドの掲載商品情報更新 ⇒「2023」表示対応済み ・令和5年度　販路拡大支援による取引実績 186,348千円(前年比14,047千円増)	(1)〇 (2)〇 (3)〇 (4)〇	〇		〇販路拡大 (1)バイヤー招聘・商談会(WEB商談含む) 5月　四国1社 8月　関東1社 9月　関東3社、四国1社 10月　関東1社、関西1社 11月　関東1社、中国1社 1月　中国1社 (2)フェア・見本市等出展支援 各種見本市等出展経費補助10社 (3)WEB版特産品ガイドの掲載商品情報更新 →9月までに掲載全事業者を訪問。掲載内容について確認し、内容を修正し反映済 ・令和6年度　販路拡大支援による取引実績 162,536千円(前年比23,812千円減)	(1)〇 (2)〇 (3)〇	〇		〇販路拡大 (1)バイヤー招聘・商談会(WEB商談含む) (2)フェア・見本市等出展支援 (3)WEB版特産品ガイドの掲載商品情報更新

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部農林振興課】

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
19	農林業の振興	集落営農の推進と担い手確保	実施した内容	○農地集積と担い手対策 (1)広域連携への取組 ①省力化の推進 ⇒アイガモロボの実証実施(1.5ha) ⇒アイガモロボ研修会開催(6月) ⇒ヤンマーとの露地野菜機械化構築 ②地域間連携の推進 ⇒センチピードグラス実施(美川西、井野) ③水田園芸の推進 ⇒有機人参の実証実施 (ヤンマーとの連携) ⇒楽天農業等との連携協定の締結 (12月) (2)認定農業者の育成 ⇒R4新規認定　2経営体 ①経営安定化の推進 ⇒有機露地ブロッコリー栽培研修の実施 ⇒有機露地ブロッコリー栽培実証実施 (40a) ②農地管理の最適化の推進 ⇒楽天農業参入候補地の選定(9ha) (3)新規就農者の確保 ①農業研修生の確保 ⇒R5年度研修生:1名 ②新規就農者の確保 ⇒有機の施設・露地の経営モデル検討 ⇒R4年度認定新規就農者:2名	○ ○ ○	○	実施した内容	○農地集積と担い手対策 (1)広域連携への取組 ・地域計画重点地区の指定 ⇒6月　中心経営体へのヒアリング実施 ⇒6、7月　県との重点地区に係る協議実施 ⇒8月　地域計画連絡会 (2)認定農業者の育成 ①経営安定化の推進 ⇒R5新規認定　2経営体(大粒ぶどう) ⇒8月　中間年評価アンケート実施 ⇒9月　対象者ヒアリング実施 ⇒3月　浜田市農業経営者研修会実施(53名参加) ②農地管理の最適化の推進 (3)新規就農者の確保 ①農業研修生の確保 ・就農パッケージの検討 (有機米、有機野菜) ⇒R6ふるさと農業研修生　1名(有機米) ⇒有機野菜の就農パッケージ作成 ⇒7月　新農業人フェア(東京)出展 ⇒8月　しまね農業プログラム実施(1名参加) ⇒9月　マイナビ農林水産FEST大阪出展 ②新規就農者の確保 ⇒R5認定新規就農者　1名(有機野菜) ⇒6月　農林大学校就農ガイダンス (畜産希望者1名、ぶどう希望者1名) ⇒8月　新規就農者経営状況ヒアリング実施 ⇒10月　しまね就農相談会(2名相談) ⇒10月　農大特別講義(ヤンマー合同) ⇒11月　就農相談ツアー(2名参加) ⇒3月　地域おこし協力隊(有機農業研修生)募集開始	○ ○ ○	○	実施した内容	○農地集積と担い手対策 (1)企業による農地集積の推進 ・楽天農業、中森農産 10/11　楽天農業山ノ内梨園現地確認 ⇒引き続き入植について検討中 (2)認定農業者の確保・育成 ・認定農業者数(新規)の増加(目標:1経営体) 5/30　新規認定1名(水稲・施設野菜) ・中間年評価及び改善指導の実施 12～1月　中間年評価ヒアリング実施　5名 (3)認定新規就農者の確保・育成 ・認定新規就農者数の増加(目標:1経営体) 8月 認定新規就農者ヒアリング(4名実施) 2月 認定新規就農者ヒアリング(4名実施) (4)農業研修生(ふるさと研修生・地域おこし協力隊)の確保・育成 ・研修生の確保(目標:3名) 5/13　東京農大協議 5/17　㈱マイファーム(アグリイノベーション大学校)協議 7/4　農林大学校就農ガイダンス 8/7　農大・石見地域高校と浜田地方農業士会との交流会 8/25　㈱マイファーム(アグリイノベーション大学校)受講者向けオンライン説明会 9/26　地域おこし協力隊協議 10/6　㈱マイファーム現地ツアー事前説明会 10/27　新農業人フェア(大阪)参加(相談12件) 11/16-17　㈱マイファーム現地フィールドワーク受入れ(9名) 12/1　しまね就農相談会(相談6件) 1/30　地域おこし協力隊審査会　⇒2名採用 3/5　ふるさと農業研修生審査会　⇒4名採用	△ ○ △ ○	○	計画	○農地集積と担い手対策 (1)広域での農地管理の仕組みづくり ・地域農業の最適化 (2)認定農業者の確保・育成 ・認定農業者数(新規)の増加(目標:1経営体) 5/30新規認定　1件(品目:露地野菜) (3)認定新規就農者の確保・育成 ・認定新規就農者数の増加(目標:1経営体) (4)農業研修生(ふるさと研修生・地域おこし協力隊)の確保・育成 ・研修生の確保(目標:3名)
		農業所得の向上		○振興作物の推進 (1)振興作物の推進 ①有機野菜 ・販路拡大 ⇒楽天農業物流実証実施 ⇒楽天農業加工場検討 ・有機露地野菜の推進 ⇒オーガニックビレッジ検討委員会の開催(4回) ⇒有機野菜先進地視察(11、2月) ⇒ヤマガタデザインアグリ研修会(2月) ⇒有機農業推進研修会の開催(3月) ②大粒ぶどう ・新規就農者の確保 ⇒認定新規就農者:1名 ③赤梨 ⇒人・農地プラン作成(山ノ内) ④西条柿 ⇒人・農地プラン作成(東平原) (2)組み合わせ作物 ①有機露地野菜の導入推進 ⇒有機露地ブロッコリー栽培実証実施 (40a)再掲 ②水田園芸の産地化 ⇒玉ねぎ栽培実証実施:2件 ⇒キャベツ品種比較試験実施:1件 ⇒機械導入支援:1件	○ ○	○		○振興作物の推進 (1)有機野菜 ①楽天農業とぐりーんはーと との連携組織協議 ⇒6月　楽天農業協議(元谷団地活用) ⇒9月　金城地域住民説明会開催 ②有機米の生産拡大 ・生産者協議の実施 ・ヤマガタデザインとの販路協議 ⇒有機米実証実施(4経営体　10,252㎡) ⇒R6農研機構(西日本農業研究センター)との共同実証実施決定 ⇒生産者協議の実施(通年) ⇒7月　島根大学協議 ⇒8月　農研機構(西日本農業研究センター)協議 ⇒12月 民間稲作研究所研修 ⇒1月　浜田市益田市有機米生産者意見交換会 ⇒3月　有機米栽培研修会開催(38名参加) ③フードバリューチェーンの構築 ・企業連携の推進 ⇒8月　ヤマガタデザイン商談 ・加工業者との協議 ⇒6月　楽天農業加工施設視察(マルハマ、JA) ⇒8月　マルハマ食品・ぐりーんはーと協議 ⇒10月　産業技術センター協議(冷凍加工)	○	○		○振興作物の推進 (1)有機野菜 ・有機JAS圃場面積の拡大(目標:2ha) 2月　楽天農業との協議実施 (2)有機米 ・有機JAS圃場面積の拡大(目標:1.4ha) 4/24　有機米栽培研修会 5/27　有機米産地創出PJ会議 農研機構アイガモロボ実証開始 6/28　有機米栽培研修会(現地指導) 7/17　先進地研修(神石高原町タナベファーム) 11/13　第3回有機米栽培研修会(生産者22名参加) 1/23　第2回有機米産地創出PJ会議 有機米面積拡大　2件　2.5ha (3)フードバリューチェーンの構築 ・企業との連携構築 6/27　㈱NEWGREEN　有機米生産者訪問 (4)オーガニックビレッジ構想の推進 ・有機給食の実施(目標:年10回実施) 有機米の提供開始(11月～) ・アイガモロボプログラミング教室(弥栄小) ・有機田んぼの生き物調査(弥栄小) ・8/6農林水産省現地調査受入 ・10/3～5オーガニックライフスタイルEXPO出展 ・11/8オーガニック給食フォーラム(オンライン参加) ・3/15　オーガニックフォーラム実施(73名参加) 「オーガニックでつながるはまだ」	△ ○ △ ○	○		○振興作物の推進 (1)有機野菜 ・有機JAS圃場面積の拡大(目標:2ha) (2)有機米 ・有機JAS圃場面積の拡大(目標:1.4ha) 5/13浜田市有機米・有機大豆栽培研修会 5月農研機構アイガモロボ実証開始 (3)オーガニックビレッジ構想の推進 ・有機給食の実施(目標:年5回実施) 5/23全国オーガニックビレッジ連携フォーラム 5/26オーガニックフォーラムジャパン視察受入

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

19	農林業の振興	農業所得の向上						④オーガニックビレッジ構想の推進 ・消費者問題研究会での説明 ⇒ 5～6月　地域循環型有機質堆肥事業実施 （ヤンマーアグリジャパン・島根大学） ⇒8、9月　籾殻燻炭事業視察（安来市、岩手県奥州市） ⇒9月　県大フィールド基礎演習 ⇒10月　熊本県山都町視察 ⇒11月　バイオ炭講演会（40名参加） ⇒12月　浜商有機給食事業実施 ⇒1月　オーガニックビレッジ全国集会参加 （2）他の振興作物 ①大粒ぶどう ⇒9月　ぶどうまつり開催 ②赤梨 ⇒6、8、9月　山ノ内梨園利活用検討会議開催 ③西条柿 ⇒9月　JA西条柿出荷式 ⇒10月　西条柿生産組合品評会審査会 ・産地振興事業による支援　17件 （大粒ぶどう9件、赤梨2件、西条柿6件）	○							
			実施した内容	○大規模農業の推進 （1）元谷団地の開発 ①県営事業の推進 ・南側農地造成地(1.2ha)公募 ②入植者の支援 ・土壌改良実証実験、営農支援 （2）農地集積に関連した基盤整備事業の推進 ・弥栄（安城・杵束）地区基盤整備調査業務協定書締結	○ ○	○	実施した内容	○大規模農業の推進 （1）元谷団地の開発 ①県営事業の推進 南側造成地約1.2haやさか共同農場へ貸付決定（4月） ・南側造成地入植者決定 ②入植者の支援 ・営農支援 （2）農地集積に関連した基盤整備事業の推進 ・弥栄（安城・杵束）地区基盤整備 地元説明会開催 ・杵束地区区画整理実施設計業務完了 ・安城地区ほ場整備調査完了	○ ○	○	実施した内容	○大規模農業の推進 （1）元谷団地の開発 ①県営事業の完了 ②入植者の支援 北側ほ場入植者募集の開始（～2/28） 応募なし、再公募の実施（～5/30） （2）農地集積に関連した基盤整備事業の推進 木都賀地区基盤整備事業の実施	△ ○	○	計画	○大規模農業の推進 （1）元谷団地の開発 ①入植者の支援 （2）農地集積に関連した基盤整備事業の推進
		鳥獣被害額の減少 ・イノシシ、サルなどによる農作物被害額を平成29年度比30%減少 （令和4年度）		○効果的な鳥獣被害対策の検討 （1）有害鳥獣被害対策 ①農作物被害軽減 ・広域防護柵設置 ワイヤーメッシュ：15,040m 電気牧柵：2,666m ・クマ捕獲事務の見直し（通年許可等） （2）集落に獣を寄せ付けない鳥獣対策 ・集落における被害防止体制の構築 地域別モデル集落認定数(19集落) 浜田1、金城13、旭2、弥栄2、三隅1 （3）人材育成・担い手確保 ①狩猟免許取得者の増 ・今年度28人が新たに免許を取得 ②捕獲体制の強化 ・鳥獣被害対策実施隊員の増員 （30名→39名）	○ ○ ○	○		○効果的な鳥獣被害対策の検討 （1）有害鳥獣被害対策 ・広域防護柵設置（農作物被害軽減） ワイヤーメッシュ：7,849m 電気牧柵：3,500m （2）集落に獣を寄せ付けない鳥獣対策 ・集落における被害防止体制の構築 地域別モデル集落認定数(22集落) 浜田2、金城14、旭2、弥栄2、三隅2 （3）人材育成・担い手確保 ・狩猟免許取得者の増 今年度14人が新たに免許を取得	○ ○ ○	○		○効果的な鳥獣被害対策の検討 （1）有害鳥獣被害対策 ・広域防護柵設置（農作物被害軽減） 穂出（和田）地区・美川西地区に於いて 地区説明会開催 （2）集落に獣を寄せ付けない鳥獣対策 ・集落における被害防止体制の構築 モデル集落認定に向けて地区説明会開催 浜田4、金城14、旭2、弥栄2、三隅2(23) （3）人材育成・担い手確保 ・狩猟免許取得者の増 前期事前講習参加者6名 後期事前講習参加者8名	○ ○ ○	○		○効果的な鳥獣被害対策の検討 （1）有害鳥獣被害対策 ・広域防護柵設置（農作物被害軽減） 4地区実施 （2）集落に獣を寄せ付けない鳥獣対策 ・集落における被害防止体制の構築 （3）人材育成・担い手確保 ・狩猟免許取得者の増

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

19	農林業の振興	儲かる林業に向けた森林整備 ・素材生産量の拡大(認定事業体による原木生産量7万㎥以上)	実施した内容	○素材生産量の増加 (1)経済林の有効活用 ①新たな森林管理システムの推進 ・経営管理権を取得した森林について、木材搬出用の作業道を整備 ・架線集材による搬出支援を実施 (2件2,211m) (2)市産木材の有効活用と普及促進 ①市産建築材の利用促進 ・市産材を使用した住宅建築普及促進 対象21件　123.97㎥使用 ・市産檜材ベンチ38基、テーブル10基制作 (設置場所) かなぎウェスタンライディングパーク 堂床山山頂休憩所 あさひ荘 三隅中央公園陸上競技場 ②市産広葉樹ブランドの展開 旭中学校において市産広葉樹製下駄箱の制作設置及び音楽室床の改修を実施 ・市産木製品の普及促進 子育て包括支援センター用遊具制作 (3)木育の推進 ①木育指導者の確保 ・木育指導者2名による木育イベントの実施 ②木育の普及促進 ・山村地域の木育推進事業の実施 対象中学校(金城、旭、弥栄、三隅)においてて森林学習・木工体験を実施(計8回延15時間) ・出生祝い品の贈呈 (市産材によるカスタネット、積み木) (4)低コスト再造林の推進 ・コンテナ苗の出荷拡大 R4年度目標30,000本→実績32,022本 ・市有林の皆伐と再造林 弥栄町市有林の皆伐を令和5年度以降に延期 ・早生樹の導入促進 ユーカリの実証実験試験地の確保	○ ○ ○ △	○	実施した内容	○素材生産量の増加 (1)経済林の有効活用 ・架線集材による搬出支援を実施 (4件2,780m) (2)市産木材の有効活用と普及促進 ①市産建築材の利用促進 ・市産材を使用した住宅建築普及促進 対象31件　243.9㎥使用 ②市産広葉樹ブランドの展開 旭中学校において市産広葉樹材を使用した多目的室床(121㎡)の木質化を実施 (3)木育の推進 ①木育指導者の確保 新たに3名を認定(合計6名) ②木育の普及促進 ・山村地域の木育推進事業の実施 対象中学校(金城、旭、三隅)において森林学習・木工体験を実施(計4回延15時間) ・出生祝い品の贈呈 (市産材によるカスタネット、積み木) (4)低コスト再造林の推進 ・コンテナ苗の出荷拡大 R5年度目標24,200本　→　実績32,590本 ・早生樹の導入促進 ユーカリの実証実験の開始(R5.5～) 植栽地　旭町本郷　1,200㎡　250本	○ ○ ○ ○	○	実施した内容	○素材生産量の増加 (1)経済林の有効活用 ・架線集材による搬出支援を実施 3件1140m (2)市産木材の有効活用と普及促進 ・市産材を使用した住宅建築普及促進 申請29件 ・市産広葉樹ブランドの展開 旭中学校技術室、金城中学校教室ロッカーの木質化 2/19贈呈式 (3)木育の推進促進 ・木育指導者の確保 合計6名 ・江津工業高校の創作活動 ・山村地域の木育推進事業の実施 森林学習や木工体験を計画中 10/16旭中学校、R7.1/28三隅中学校実施 R7.2/10金城中学校実施 ・森林学習 浜田第一中学校R6.10.22 石見小学校R7.3.6 ・出生祝い品の贈呈 6か月検診時カスタネット、18か月検診時積み木の贈呈 (4)低コスト再造林の推進 ・コンテナ苗の出荷拡大 ・早生樹の導入促進 ユーカリの実証実験中 JIAから生育良好と評価をいただき新規開拓地を検討中 試験植栽、久代町市有地(10/24) R7年度三隅市有林に試験植栽予定	○ ○ ○ ○	○	計画	○素材生産量の増加 (1)経済林の有効活用 ・架線集材による搬出支援を実施 (2)市産木材の有効活用と普及促進 ・市産材を使用した住宅建築普及促進 ・市産広葉樹ブランドの展開 (3)木育の推進促進 ・木育指導者の確保 ・森林学習・木工体験を計画 ・学校施設の木質化 市内小中学校に周知(2中、3中、金城中、旭中要望有) ・出生祝い品の贈呈 (4)低コスト再造林の推進 ・ユーカリの実証実験中(旭町和田、浜田市久代) ・コンテナ苗の出荷拡大 ・早生樹の導入促進

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部水産振興課】

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
20	水産業の活性化	水産物の販路拡大	実施した内容	○「山陰浜田港」水産物の販路拡大対策 (1)「山陰浜田港」PR活動 ①ブランド化の推進 ・「浜田港四季のお魚」認証店の拡充 ・「どんちっち」加盟事業者の拡充　148社 ・魚食普及協力店の拡充 ②消費地市場へのPR (2)魚食普及活動 ・お魚料理教室開催 ・お魚検定開催(2/18) ・Sea級グルメ全国大会in八幡浜参加 (11/12～13) ⇒「山陰浜田港あんこう鍋」優秀賞受賞 ・どんちっちノドグロ給食提供(2/14～3/3)	○ ○	○	実施した内容	○「山陰浜田港」水産物の販路拡大対策 (1)「山陰浜田港」PR活動 ①ブランド化の推進 ・「浜田港四季のお魚」認証店の拡充 ・「どんちっち」加盟事業者の拡充　150社 ・魚食普及協力店の拡充 ②消費地市場へのPR (2)魚食普及活動 ・お魚料理教室開催 ・お魚検定開催(12/16・17) ⇒参加者38人 ・Sea級グルメ全国大会in沼津参加 (10/28～29) ⇒「浜田アンコウとノドグロ旨み焼売」 準優勝受賞 ・どんちっちノドグロ給食提供(2/13～28)	○ ○	○	実施した内容	○「山陰浜田港」水産物の販路拡大対策 (1)「山陰浜田港」PR活動 ①ブランド化の推進 ・「浜田港四季のお魚」認証店の拡充　⇒143社 ・「どんちっち」加盟事業者の拡充 ・魚食普及協力店の拡充 ・四季のお魚26種更新検討 ・バトウめしの開発　⇒2店舗 ②消費地市場へのPR ③漁港見学及び出前授業の開催 ⇒36回　1,288人 (2)魚食普及活動 ・お魚料理教室開催 ⇒8回開催　173人 ・お魚検定開催(12月7日・8日) ⇒受検者数　45人 ・Sea級グルメ全国大会in境港参加(11/9～10) ⇒「浜田アンコウとノドグロ旨み焼売」 準優勝受賞 ・どんちっちノドグロ給食提供(2月頃) ・Fish-1グランプリ参加(11月4日) ⇒「バトウめし」さかなの日特別賞	○ ○	○	計画	○「山陰浜田港」水産物の販路拡大対策 (1)「山陰浜田港」PR活動 ①ブランド化の推進 ・「浜田港四季のお魚」認証店の拡充 ・「どんちっち」加盟事業者の拡充 ・魚食普及協力店の拡充 ・四季のお魚対象魚種の更新 ・バトウめしの普及 ②消費地市場へのPR ③漁港見学及び出前授業の開催 (2)魚食普及活動 ・お魚料理教室開催 ・お魚検定開催 ・Sea級グルメ全国大会in青森(9/27-28) ・どんちっちノドグロ給食提供
				○高度衛生管理型荷さばき所の整備 (1)計画に基づく事業実施 ①4号荷さばき所の整備 ・建築工事(～3月) ・落成式典(3/18)		○		高度衛生管理型荷さばき所の運営 7号荷さばき所(令和2年8月～) 4号荷さばき所(令和5年4月～)								
		浜田漁港周辺エリアの活性化		○山陰浜田港公設市場の整備 (1)賑わいイベントの開催 ・山陰浜田港秋のわくわくマルシェ開催 (10/23) ・春祭り開催(3/26)		○		○浜田漁港周辺エリアの活性化 (1)活性化イベントの開催 第1回島根イタリー(5/21) 水高まつり(6/4) お魚市場感謝祭(7/16) 第2回島根イタリー(11/12) ラーメンフェス(3/23)		○		○浜田漁港周辺エリアの活性化 (1)活性化イベントの開催 ・島根イタリー(5/26) ・どんちっちアジ祭り(6/1) ・水高まつり(6/8) ・石見の魚まつり(9/21)		○		○浜田漁港周辺エリアの活性化 (1)活性化イベントの開催 ・島根イタリー(5/25) ・どんちっちアジ祭り(6/7) ・水高まつり(6/8)
				○瀬戸ヶ島埋立地の活用 (1)企業との陸上養殖の共同研究に基づく 事業化に向けた取組実施 ・関係機関との協議 ・事業内容の検討 ・支援策の検討 ・マルハニチロ訪問(10/20、1/19)		△		○養殖事業等新たな水産事業の検討 (1)企業との共同研究協定に基づく 養殖事業の可能性の検討 ・海面測量調査等の実施(4月～7月) ・調査結果に基づく研究(8月～) 調査報告会(3/6)		△		○養殖事業等新たな水産事業の検討 (1)企業との共同研究協定に基づく ・養殖事業の可能性の検討 ・マルハニチロ訪問(7/17、1/16) ・調査結果報告(3/31)		△		○養殖事業等新たな水産事業の検討 (1)協定に基づく事業化に向けた取組実施 ・事業化の調査 ・関係機関との協議 Proximar㈱と協定書締結(5/22)

20	水産業の活性化	水揚の維持・増大	○地元漁船の維持・存続 （1）新船建造支援 ・支援制度の構築 （2）担い手対策 ・若者漁業者確保支援事業の実施　1名 ・U・Iターン漁業研修事業の実施　2名	○ ○	○	○地元漁船の維持・存続 （1）新船建造支援 ・支援制度の構築（4月～10月） （2）担い手対策 ・若者漁業者確保支援事業の実施　1名 ・U・Iターン漁業研修事業の実施 ・沿岸自営漁業自立支援事業の実施 自立給付金交付（認定新規漁業者）　1名	○ △	○	○地元漁船の維持・存続 （1）漁船更新支援 ・沖合底曳網漁業、まき網漁業、定置網漁業 まき網1船団、定置網1船団：更新完了 （2）担い手対策 ・若者漁業者確保支援事業の実施　3名 ・U・Iターン漁業研修事業の実施 ・沿岸自営漁業自立支援事業の実施 ・自立給付金交付（認定新規漁業者）　1名	○ △	○	○地元漁船の維持・存続 （1）漁船更新支援 ・沖合底びき網漁業1ヶ統　（R7.6　竣工予定） （2）担い手対策 ・若者漁業者確保支援事業の実施 ・UIターン漁業研修事業の実施 ・沿岸自営漁業自立支援の実施 自立給付金交付（認定新規漁業者）
			○地元外漁船の誘致 （1）入港促進補助事業の実施 （2）JF・市議会と連携した誘致活動	○ △	△	○地元外漁船の誘致 （1）入港促進補助事業の実施 （2）JF・市議会と連携した誘致活動 大中型まき網漁業経営体訪問（7月、8月） ・愛媛県（7月）、長崎県（8月）	○ ○	○	○地元外漁船の誘致 （1）入港促進補助事業の実施 ・いか釣り漁船入港促進事業補助金 ・まき網漁船入港促進事業補助金 （2）JF・市議会と連携した誘致活動 ・まき網漁業経営体への訪問 長崎県（8/2）、隠岐の島（9/14）、 愛媛県（11/12） ※株式会社三陽と包括連携協定締結（1/24）	○ ○	○	○地元外漁船の誘致 （1）入港促進補助事業の実施 ・いか釣り漁船入港促進事業補助金 ・まき網漁船入港促進事業補助金 （2）JF・市議会と連携した誘致活動 ・まき網漁業経営体への訪問
			項目なし			項目なし			項目なし			○地元外企業の誘致 （1）株式会社三陽の進出に向けた取組実施

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部観光交流課】

No.	項目	目的・目標	令和4年度	評価	総合評価	令和5年度	評価	総合評価	令和6年度	評価	総合評価	令和7年度
21	石見神楽振興事業	石見神楽の認知度向上	○関東・関西など県外での認知度向上 (1)石見神楽国立劇場公演 開催日　7月31日(日) 来場者数:約2,000人 (2)令和5年度以降の関東圏での上演検討 (3)大阪・関西万博に向けた取組 ・首長連合への参加 ・大阪での上演 開催日:9月4日(日)昼夜2回公演 会　場:ビルボードライブ大阪 来場者数:延べ約340人 (4)広島広域都市圏との連携 神楽の日:9月23日～25日 会　場:広島駅南口エールエール地下広場 来場者数:延べ約2,600人	○ ○ ○ ○	○	○関東・関西など県外での認知度向上 (1)石見神楽富岡八幡宮上演 開催日:8月13日(日) 来場者数:約2,000人 (2)大阪・関西万博に向けた取組 ・首長連合との連携 ・大阪御堂筋ランウェイでの石見神楽上演 開催日:11月3日(金・祝) イベント来場者数:約30万人 (3)広島広域都市圏との連携 神楽の日:12月2日(土)、3日(日) 会場:広島駅南口エールエール地下広場 来場者数:約5,600人	○ ○ ○	○	○関東・関西など県外での認知度向上 (1)石見神楽富岡八幡宮上演 開催日:8月11日(日) 来場者数:約2,000人 (2)大阪・関西万博に向けた取組 ・御堂筋ランウェイでの上演 11月3日(日) 来場者数:約70万人 ・石見神楽大阪・関西万博上演 実行委員会開催 10月11日(金)、11月28日(金)、2月19日(水) 企画運営事業者選定　10月～11月 (3)広島広域都市圏との連携 神楽の日:11月30日(土)～12月1日(日) 会場:広島駅南口エールエール地下広場	○ ○ ○	○	○関東・関西など県外での認知度向上 (1)石見神楽大阪・関西万博公演 ・浜田市単独公演 6月19日(木)、6月20日(金) EXPOホール「シャインハット」 ・万博首長連合主催「local Japan展」 7月29日(火)、7月30日(水)、7月31日(木) ※子ども神楽の上演 (2)石見神楽富岡八幡宮上演 開催日:8月16日(土) (3)広島広域都市圏との連携
			○石見神楽を軸にしたインバウンド対策 (1)浜田市と島根県立大学の共同研究事業 ・海外向け動画の研究 ・外国人向け石見神楽ワークショップ (7月31日)　22名参加(9か国) ・浜田の夜神楽のYouTube配信 (8月13日、9月24日、10月29日、11月26日)		○	○石見神楽を軸にしたインバウンド対策 大阪・関西万博を契機としたインバウンド需要を見据えたプロモーション活動 ・神楽産業モニターツアーの実施 9月24日、11月26日、12月10日、1月20日～21日 高付加価値ツアーの実施 ・浜田石見神楽オールインクルーシブツアー　1月14日		○	○石見神楽を軸にしたインバウンド対策 大阪・関西万博を契機としたインバウンド需要を見据えた取組 ・観光協会や旅行会社と連携した神楽産業ツアーの実施及び販路開拓 ・演目紹介動画の作成		○	○石見神楽を軸にしたインバウンド対策 大阪・関西万博を契機としたインバウンド需要を見据えた取組 ・観光協会や旅行会社と連携した神楽産業ツアーの実施及び販路開拓
			○市単独の神楽衣裳等新調の補助制度の実施 ・申請受付(5月11日締切)⇒申請7団体 ・選定委員会(5月29日)⇒採択7団体		○	○市単独の神楽衣裳等新調の補助制度の実施 ・申請受付(5月8日締切)⇒申請7団体 ・選定委員会(5月21日)⇒採択7団体		○	○市単独の神楽衣裳等新調の補助制度の実施 ・申請受付(4月30日締切)⇒申請12団体 ・選定委員会(5月19日)⇒採択12団体		○	○市単独の補助制度の実施 (1)神楽衣裳等新調の補助制度の実施 (2)神楽団体の活動を支援する補助制度の実施(新設)

No.	項目	目的・目標	令和4年度	評価	総合評価	令和5年度	評価	総合評価	令和6年度	評価	総合評価	令和7年度
22	交流人口増加のための個人来訪者向け施策の展開	個人来訪者や合宿等の増加	○アフターコロナを見据えた市内イベント推進体制の構築 ・持続可能なイベント体制構築 ・既存イベントの日程等の見直しの働きかけ ・イベント等情報の集約と周知の徹底		○	○アフターコロナを見据えた市内イベント推進体制の構築 ・持続可能なイベント体制構築 ・既存イベントの日程等の見直しの働きかけ ・イベント等情報の集約と周知の徹底		○	○アフターコロナを見据えた市内イベント推進体制の構築 ・持続可能なイベント体制構築 ・既存イベントの日程等の見直しの働きかけ ・イベント等情報の集約と周知の徹底		○	イベント実行委員会等実働団体と連携してイベント実施
			○合宿等の増加 ・補助金要綱の見直しによる利便性向上 ・営業活動活動の強化 目標:3,400泊 実績:2,896泊(対前年＋1,629泊)		△	○合宿等の増加 ・広島の大学への誘致訪問(5校) 目標:3,400泊 実績:2,528泊		△	○合宿等の増加 ・中国管内の高等学校へチラシを送付(20校) 目標:3,500泊 実績:3,375泊		△	○合宿等の増過 ・合宿等誘致事業補助金交付要綱の見直しの検討

【都市建設部建設企画課・建設整備課・維持管理課】

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
23	充実した都市基盤の整備	浜田駅周辺整備（令和6年度）	実施した内容	○浜田駅周辺整備 （1）南北道路整備 ・関係機関との協議 JR工事施工ヤード調整 ⇒調整完了 ・道路工事（継続） ⇒道路工事　令和5年3月契約完了 ・用地買収及び移転補償 ⇒用地買収　契約完了 ⇒移転補償　一部完了 ・JR施設工事着手 9月資材搬入、工事開始 ⇒令和5年1月資材搬入、工事開始		△	実施した内容	○浜田駅周辺整備 （1）南北道路整備 ・関係機関との協議 踏切周辺の下水道計画との調整 ・道路工事（継続） ローソン前道路工事 （R6.4月完了） ・用地買収及び移転補償（継続） ・JR施設工事（継続） ・供用開始：令和7年3月末		○	実施した内容	○浜田駅周辺整備 （1）南北道路整備 ・関係機関との協議 踏切周辺の下水道計画との調整 ・道路工事（継続） ローソン前道路工事（R6.4月完了） ・移転補償（継続） ・JR施設工事（継続） ・供用開始：令和7年3月8日 ・竣工式：令和7年3月15日		○	計画	JR委託工事（旧踏切撤去）
		周布橋整備（令和7年度）		○周布橋整備 （1）周布橋の建設 ・設計（3月完了） ・被災橋撤去（橋脚、桁撤去　3月完了）		○		○周布橋整備 （1）周布橋の建設 ・橋台撤去 ・橋脚、橋台（一部）　工事 ・供用開始：令和7年12月末		○		○周布橋整備 （1）周布橋の建設 ・橋脚、橋台（一部）　工事 ・供用開始：令和8年3月末 （R6.11大雨により工期遅延） ・橋梁上部工（一部）　工事		△		○周布橋整備 （1）周布橋の建設 ・橋梁上部工（一部）　工事 ・供用開始：令和8年3月末
		市役所周辺整備（令和9年度以降）		○市役所周辺整備 （1）関係機関協議、要望 ・公共施設最適利用検討会（庁内）の開催 ⇒事務局会議を実施（4/21・2/5） ・国公有財産最適利用連絡会 （財務省中国財務局、松江財務事務所、中国地方整備局営繕部、浜田市）の開催 ⇒4/22、2/6　計2回実施 次回（5月下旬開催予定）		△		○市役所周辺整備 （1）関係機関協議、要望 ・公共施設最適利用検討会（庁内）の開催 ⇒事務局会議を実施（12/20） ・国公有財産最適利用連絡会 （財務省中国財務局、松江財務事務所、中国地方整備局営繕部、浜田市）の開催 12/25（月）開催		△		○市役所周辺整備 （1）関係機関協議、要望 ・公共施設最適利用検討会（庁内）の開催 ⇒事務局会議を12月25日に実施 （下記連絡会前後に開催予定） ・国公有財産最適利用連絡会 （財務省中国財務局、松江財務事務所、中国地方整備局営繕部、浜田市）の開催 12月26日（木）に開催		△		関係機関との調整
		公園整備基本方針の策定（令和5年3月）		○公園整備基本方針の策定 （1）基本情報の整理 ①所在地、所管課、施設概要等の把握（7月）⇒基礎調査（9月） ②マップ、一覧表の整理（11月） （2）現状分析と課題の整理 ①地元要望等の整理（11月） ②課題の整理（12月） ⇒現状分析と課題の整理（12月） （3）基本方針の策定 ①基本方針の策定（3月）	△ ○ ○	○		基本方針に基づいた事業実施								

【上下水道部水道管理課】

No.	項目	目的・目標	令和4年度		評価	総合評価	令和5年度		評価	総合評価	令和6年度		評価	総合評価	令和7年度	
24	水道料金の改定	適正な水道料金への料金改定	実施した内容	項目なし			実施した内容	項目なし			実施した内容	項目なし			計画	○料金改定 (1)上下水道事業審議会 4月・・・料金審議3回目(料金表の審議) 7月・・・料金審議4回目(答申作成) 10月・・・料金審議5回目(答申作成②)、答申 (2)市の方針決定 (3)議会上程・条例改正 ・3月議会で条例改正 →浜田市給水条例の一部改正

No.	項目	目的・目標	令和4年度		評価	総合評価	令和5年度		評価	総合評価	令和6年度		評価	総合評価	令和7年度	
25	水道事業の広域化	県内水道事業体との経営一体化	実施した内容	項目なし			実施した内容	項目なし			実施した内容	項目なし			計画	○島根県水道広域化推進協議会 (1)財政シミュレーション ・統一した条件による財政シミュレーションの実施 5月・・・協議会開催(予定) → 開催なし

【上下水道部工務課】

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
26	基幹管路の更新及び耐震化	基幹管路の更新及び耐震化	実施した内容	○基幹管路の更新及び耐震化 （1）更新計画に基づく事業実施 ①管路更新工事情報の見える化 ・工事情報をホームページに公表 ⇒6月以降随時公表 ②更新及び耐震化の推進 ・工事発注（7月） 6月・・・工事1件契約 7月・・・工事1件契約 8月・・・工事2件契約 ※工事2件の繰越手続き済 ⇒約1kmの更新工事を実施 4件の工事の内2件が年度内完了出来ず次年度への繰越しとなった		△	実施した内容	○基幹管路の更新及び耐震化 （1）更新計画に基づく事業実施 ①管路更新工事情報の見える化 ・工事情報をホームページに公表 ⇒5月以降随時公表 ②更新及び耐震化の推進 ・工事発注（6月） 5月・・・工事1件契約 6月・・・工事1件契約 7月・・・工事1件、業務委託1件契約 ※工事1件、業務委託1件の繰越手続き済 ⇒約1kmの更新工事を実施 3件の工事の内1件と業務委託1件が年度内完了出来ず次年度への繰越しとなった		△	実施した内容	○基幹管路の更新及び耐震化 （1）更新計画に基づく事業実施 ①管路更新工事情報の見える化 ・工事情報をホームページに公表 ⇒5月以降随時公表 ②更新及び耐震化の推進 ・令和6年3月に追加要望分発注 3月・・・工事契約2件、業務契約2件 ※完了：工事1件 ⇒約0.2kmの更新工事を実施 ※継続中：工事契約1件、業務契約2件 ⇒R7.3末までに完了予定 ※3月完了：工事1件、業務2件 ⇒R6年度の予定事業は全て完了 ⇒計約1.0kmの更新工事を実施 ・令和7年3月に追加要望分発注 3月・・・工事契約4件、業務契約1件		○	計画	管路路更新の継続実施

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
27	寒波による断水対策の実施	寒波による断水原因の調査及び断水を起こさないための対策実施	実施した内容	○配水量調査及び送水能力の検討 （1）下ノ原配水系の配水流量調査 ・流量計BOX設置工事（～7月） ・流量把握調査（7月～3月） ⇒流量計BOXを設置（～7月） また、BOX設置のため流量把握調査を実施（～3月） （2）金城地区送水能力検討 ・検討業務（6月～3月） ⇒下ノ原配水池系及び今福中央配水池系への送水及び配水能力の検討業務を実施（～3月）	○ ○	○	実施した内容	寒波による断水対策の継続実施			た内容				画	

【上下水道部下水道課】

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
28	市街地下水道整備	○第1期工事区域の工事完了（令和9年度）	実施した内容	○処理場建設工事に向けた準備 （1）公民連携手法の導入 ①導入可能性調査の実施 ・浜田水再生センター建設工事事業説明会（12月） ・浜田市建設業協会との意見交換会（1月） ②基本設計の実施 ・建設用地の有効利用の検討 （2）事業啓発 ①処理場建設地周辺住民を中心に処理施設の説明会を開催 ・国府浄化センターの見学会開催（8月） ②浜田処理区を中心に、汚水処理の必要性についての啓発活動 ・広報紙「はまだ下水道通信」配布（9月）	△ ○	○	実施した内容	○処理場建設工事に向けた準備 （1）公民連携手法の導入 ①R6年度工事着手に向け、発注方式を決定し、事業者選定を行う ・浜田水再生センター建設工事事業説明会（6月） ・浜田水再生センター建設工事 第1回ﾌﾟﾛﾎﾟｰｻﾞﾙ方式選定審査会（10月） 公募開始（募集要項等公表）（11月） 第2回ﾌﾟﾛﾎﾟｰｻﾞﾙ方式選定審査会（1月） 契約候補者決定、基本協定締結（2月） （2）事業啓発 ①処理場建設地周辺住民を中心に処理施設の説明会を開催（5月） ②浜田処理区を中心に、汚水処理の必要性についての啓発活動（4月、9月） ・広報紙「はまだ下水道通信」配布（12月） ③先進地視察（7月） ⇒8月隠岐	○ ○	○	実施した内容	○処理場建設工事の実施 （1）公民連携手法の実施 ①詳細設計完了（～12月） ⇒ECI方式協議会との調整により2月完了 ②事業者と工事請負契約を締結し工事着手 ・浜田水再生センター建設工事 第1回ECI方式協議会（9月） 工事着手（ECI方式 10月～） 第2回ECI方式協議会（11月） 工事着手（ECI方式 12月～） 第3回ECI方式協議会（2月） 工事着手（ECI方式 3月～） （2）事業啓発 ①処理場建設地周辺住民を中心に処理施設の説明会を開催 ・工事説明会（9月） ②浜田処理区を中心に、汚水処理の必要性についての啓発活動 ・広報紙「はまだ下水道通信」配布（7月）	○ ○	○	計画	○処理場建設工事の実施 （1）建設工事の実施 ①関連工事との調整を図り円滑に工事実施する （2）事業啓発 ①浜田処理区を中心に、汚水処理の必要性についての啓発活動を行う
				○下水道整備工事に向けた準備 （1）公民連携手法の導入 ・管路整備DB公募開始(10月） ・プロポーザル方式選定審査会（2月） ・契約候補者との基本協定締結（3月） （2）関係機関への事前協議 ・国、県道協議（10月） ・JR協議（11月）	○ ○	○		○下水道管路整備の実施 （1）公民連携手法の導入 ①管路整備DBの詳細設計に着手（5月～） ②設計完了箇所から順次工事着手 （2）関係機関との連絡調整 ①道路・地下埋設物管理者との設計調整（5月～） ②他事業との設計・工事調整（5月～） ・JR踏切横断部 実施協定締結事務（3月）	△ ○	○		○下水道管路整備の実施 （1）公民連携手法の実施 ①管路整備DBの詳細設計完了 ⇒関係機関との調整により一部継続 ②設計完了箇所から順次工事着手 （2）関係機関との連絡調整 ①道路・地下埋設物管理者との設計調整（4月～） ②他事業との設計・工事調整（4月～） ・君市踏切部工事説明会（7月） （建設整備課 共同開催） ・君市踏切部工事着手（10月） （建設整備課 共同工事規制）	△ ○	○		○下水道管路整備の実施 （1）公民連携手法の実施 ①設計完了箇所から順次工事着手 （2）関係機関との連絡調整 ①円滑に工事実施するため関係機関との連絡調整会議を実施

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【金城支所産業建設課・市民福祉課】

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
29	農業振興	農業振興	実施した内容	○農業振興 (1)大粒ぶどうの産地拡大 ・リースハウス事業を活用した 作付面積拡大 ピオーネ離農者と作付者の マッチング 13a (2)その他農業振興 ・耕作放棄地対策と有害鳥獣対策 集落ぐるみの有害鳥獣対策 楽天農業と地域との橋渡し 説明会開催 2回 楽天へ面積提示 810a→合意 760a	△ ○	△	実施した内容	○農業振興 (1)農地保全と耕作放棄地防止対策 ・楽天農業と地域との橋渡し 7.6ha (2)ピオーネの産地振興 9/2ピオーネまつり開催 出荷数量 22.1t 出荷額 38,953千円 (3)有害鳥獣対策 モデル集落数 10集落	○ ○ ○	○	実施した内容	○農業振興 (1)農地保全と耕作放棄地防止対策 ・中山間地域直接支払制度 次期対策への取組 (2)ピオーネの産地振興 9/7第2回ぶどうまつり開催 出荷数量:24.1t 出荷額:45,037千円 (3)新開団地 矯正施設刑務作業関係の法務省との協議 現地説明会 7/25～7/26	○ ○ ○	○	計画	○農業振興 (1)農地保全と耕作放棄地防止対策 ・中山間地域直接支払制度 6期対策への取組 (2)ピオーネの産地振興 (3)小波の郷施設活用 利用再開に向けた取組

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
30	観光交流	美肌観光の推進	実施した内容	○観光交流 (1)美肌観光の推進 ・美肌観光による誘客推進 ・美肌商品の開発推進 ・おもてなし研修の実施 ・プロポーザルにより委託業者を決定 (2)美又温泉振興 ・保養センターR5-R7指定管理公募・ 決定 利用実績 入浴者数 46,591人 レストラン 7,572人 宿泊者数 495人 ・新型コロナウイルス対策等 ・美肌県しまね推進事業を活用した取組 （旅館組合） メニュー開発、旅行商品造成、PR活動 ・全国旅行支援への取組 ・温泉総選挙2022 「うる肌部門」第2位、環境大臣賞受賞 ・観光庁事業：地域一体となった観光地・ 観光産業の再生・高付加価値化事業 へ応募予定	○ ○	○	実施した内容	○美又温泉の振興 (1)外湯の整備 ・基本構想の策定 ・整備計画の立案 プロポーザル公募開始R5.6～ プロポーザル選定業者との契約 (2)官民一体となった美又温泉の再生 ・観光庁事業の導入 5月採択（6施設）うち金城5、旭1 6月補正済 廃屋撤去事業着手（発注作業） ・美肌観光推進事業の推進 ・温泉総選挙2023の取組 リアル投票9/16～ うる肌部門1位獲得 特別賞受賞	○ ○	○	実施した内容	○美又温泉の振興 (1)外湯の整備 ・プロポーザル公募による事業者決定 ・外湯施設詳細設計 ・保養センターを含む全体整備計画策定 ・デジタル田園都市国家構想交付金 導入検討にかかる費用を12月補正 ・新しい地方経済・生活環境創生交付金申請 ・令和7年度予算計上 (2)官民一体となった美又温泉の再生 ・島根県とともに美肌観光推進事業 を展開(R4-R6) 2年間の事業延長を検討(R7-R8) ・温泉総選挙2024の取組 美肌部門第1位獲得 地方創生担当大臣賞受賞	○ ○	○	計画	○美又温泉の振興 (1)外湯の整備 ・工事発注 ・進入路等設計業務 ・条例制定、指定管理者公募 ・民間商業施設公募 ・保養センターの歴史展計画 (2)官民一体となった美又温泉の再生 ・島根県とともに美肌観光推進事業 を展開(R4-R8) ・温泉総選挙2025の取組

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
31	公害対応	臭気の軽減	実施した内容	○公害対応 (1)臭気の低減 ・家畜排泄物を利用したバイオマス発電 設備導入に係る事業者支援 市内事業者への県補助金にかかる 情報提供及び申請支援（4～6月） 養豚事業者との面談及び現地調査の 調整面談（6/3、8/18、2/1） 現地調査（2/17）		△	実施した内容	○公害対応 (1)臭気の低減 ・家畜排泄物を利用したバイオマス発電 設備導入に係る事業者支援の検討 市内事業者の設備導入に係る進捗把握 （随時） 補助金活用に係る県との協議（6/5） 市内事業者と養豚事業者との連絡調整 （随時）		△	実施した内容	○公害対応 (1)臭気の低減 ・家畜排泄物を利用したバイオマス発電 設備導入に係る事業者支援の検討 市内事業者の設備導入に係る進捗把握 （随時） 補助金活用に係る関係機関との検討協議 （適宜） 市内事業者と養豚事業者との連絡調整 （随時）		△	計画	○公害対応 (1)臭気の低減 ・家畜排泄物を利用したバイオマス発電 設備導入に係る事業者支援の検討 市内事業者の設備導入に係る進捗把握 （随時） 補助金活用に係る関係機関との検討協議 （適宜） 市内事業者と養豚事業者との連絡調整 面談（5/14）

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【旭支所産業建設課】

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
32	農業の振興	農地の保全	実施した内容	○農地の保全 (1)地域内農地保全の持続化 ①地域独自基盤整備事業実施農地のフォローアップ ・耐久性畦畔、畦畔除草省力化等実施農地の利用状況調査 →耐久性畦畔実施農地のリストアップ ⇒現地調査実施中 ⇒調査結果の取りまとめ（3月） ②地区単位での継続協議支援 ・利用状況調査のフィードバック (2)中山間直払活用に向けた支援 ①集落協定の広域化支援 ・まちづくりセンター単位での広域化推進 ⇒広域化未実施地区との協議実施	(1)△ (2)○	△	実施した内容	○農地の保全 （1）地域内農地保全の持続化 ①地域独自基盤整備事業実施農地のフォローアップ ・畦畔除草省力化実施農地の利用状況調査 →調査結果取りまとめ、各集落へフィードバック ②地区単位での継続協議支援 ・将来の農地利用を明確化する地域計画を支援 →農家アンケートの実施、とりまとめ（9月） ③農村と地域づくりとの連携 ・農村RMOの活用（和田モデル地域） ・地域おこし協力隊と地域住民との連携 地域おこし協力隊員の採用（8月～） （2）中山間直払活用に向けた支援 ①集落協定の広域化支援 ・まちづくりセンター単位での広域化推進 都川地区への説明会実施（7月） 広域での事業実施に向けた協議（12月） →令和6年度からの事業実施が決定 ②農地保全によるまちづくり ・先進的取組への支援、情報共有	(1)○ (2)○	○	実施した内容	○農地の保全 （1）地域内農地保全の持続化 ①地域単位での地域計画作成支援 ・人・農地プランのローリング ⇒全5地区作成 ②地域独自基盤整備事業実施農地のフォローアップ ・営農体制の持続化（管理・維持）支援 ③農村と地域づくりとの連携 ・農村RMOの活用（和田モデル地域） 水稲での水位・水温センサーを試験導入（DX化） ・地域おこし協力隊と地域住民との連携 ⇒空き家活用3戸 （2）中山間直払活用に向けた支援 ①日本型直払制度の推進 ・第6期対策に向けた取組 ・多面的機能支払交付金未実施地区の解消 ・環境保全型農業直接支払交付金の取組に向けた支援 ②農地保全によるまちづくり ・先進的取組への支援、情報共有	(1)○ (2)○	○	計画	○農地の保全 （1）地域内農地保全の持続化 ①営農体制の持続化（管理・維持）支援 ・認定農業者・サポート経営体との連携強化 ・再圃場整備への事業支援 ・地域計画のローリング ②農村と地域づくりとの連携 ・農村RMO（和田地区）自走支援 ・まちづくり法人の設立検討支援 ・地域おこし協力隊と地域住民との連携 （2）中山間直払活用に向けた支援 ①日本型直払制度の推進 ・中山間直払の活動計画策定支援 ・環境保全型農業直接支払交付金の取組に向けた支援 ②農地保全によるまちづくり ・先進的取組への支援、情報共有
		山ノ内梨園の再生		○山ノ内梨園再生に向けた支援 （1）農地利用の促進 ①人・農地プランの策定協議 ⇒策定に向けた農家との協議（2月） ⇒プランの策定、実質化（3月） ・遊休農地活用の検討協議 ②担い手確保の検討 ・担い手受入体制の検討 ・企業参入に向けた提案		○		○山ノ内梨園再生に向けた支援 （1）遊休農地利活用方法の検討 ①利活用検討準備会の立ち上げ（～5月） ・生産者との協議 ・関係機関（県、JA等）との協議 ②利活用検討会での検討（6月～） ・ほ場に適した栽培作物の検討 ・振興作物栽培の適否の検討 第1回検討会の開催（6月） 振興作物栽培の適否を県と調査 ⇒大粒ぶどうの経営シミュレーション、就農モデル検討 ⇒大粒ぶどう栽培の適地ではない ・第2回検討会の開催（12月） ⇒有機野菜作付による利活用 ③市有農用地利活用方法の検討 ・空きほ場への入植者公募 ⇒空きほ場所有者への意向調査実施済 ⇒楽天農業の入植を目指し交渉中		○		○山ノ内梨園再生に向けた支援 （1）遊休農地利用の促進 ①担い手確保と参入支援 ・有機野菜の露地栽培への取組 ・ぶどう栽培へ向けた検討 ②梨産地の振興 ・生産者及び普及指導員との連携 ・農業用水利施設更新の検討		△		○山ノ内梨園再生に向けた支援 （1）遊休農地利用の促進 ①担い手確保と参入支援 ・有機野菜の露地栽培に向けての参入 ・大粒ぶどう栽培への利活用 ②梨産地の振興 ・地域おこし協力隊募集による担い手確保 ・生産者及び普及指導員との連携

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
33	観光交流	旭温泉の活性化	実施した内容	○旭温泉の活性化 (1)集客に向けた取組への支援 ①魅力ある温泉地づくり ・若手従業員との意見交換会の実施（7月） →商品開発（温泉の素）、HPリニューアルの方向性決定 ・地域の特色を活かした滞在プランの造成 ・広島PRセンター等と連携したニーズ調査の実施 ⇒各施設に応じたターゲットの集客協議（2月） ②効果的な情報発信の強化 ・ホームページ、SNS等活用の勉強会実施		△	実施した内容	○旭温泉の活性化 （1）集客に向けた取組への支援 ①新規経営者との連携 ・旅館組合内の連携強化への支援 ②情報発信力強化への支援 ・温泉総選挙と連動した情報発信 温泉総選挙2023エントリー リアル投票、SNS投票 ⇒総選挙2位を記念した宿泊プラン等の検討中 ・広島PRセンターと連携した情報発信 ・ふるさと学習		○	実施した内容	○旭温泉の活性化 （1）集客に向けた取組への支援 ①魅力ある温泉地づくり ・温泉地との面的連携 ②情報発信力強化への支援 ・温泉総選挙2024と連動した情報発信 温泉総選挙2024エントリー(8/9～11/1) 歴史/文化部門　第1位獲得 ⇒総選挙1位記念「石見神楽特別展」 ・広島PRセンターと連携した情報発信 ・ふるさと郷育との連携		○	計画	○旭温泉の活性化 （1）集客に向けた取組への支援 ①魅力ある温泉地づくり ・温泉地と各種イベントとの連携 ②情報発信力強化への支援 ・温泉総選挙と連動した情報発信 ・広島PRセンターと連携した情報発信 ・ふるさと郷育との連携

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
34	地域交流プラザ	地域交流プラザの最適な在り方検討	実施した内容	項目なし			実施した内容	項目なし			実施した内容	項目なし			計画	○地域交流プラザの最適な在り方検討 (1) ニーズの整理 ・施設の現状確認とニーズ把握 (2)方向性の検討 ・地域交流プラザまんてん検討会議（仮称） ・施設の最適な在り方検討

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【弥栄支所産業建設課】

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価
35	観光の振興	【令和4年度まで】 ふるさと体験村の運営再開と持続可能な活動計画の策定 【令和5年度から】 ふるさと体験村の持続可能な運営に向けた支援の実施	実施した内容	○令和5年4月の運営再開に向けた準備 (1)指定管理者の決定 ①仮協定の締結(5月) ⇒締結(6月9日) ②指定管理者の指定(6月) ⇒指定通知(7月4日) 地元のまちづくり団体「弥栄のみらい創造会議」へ指定通知 (2)施設再稼働の準備 ①再稼働のための施設改修 (6月～11月) ⇒国事業不採択に伴う財源調整及び漏水修繕追加のため延期(8月～2月) ②施設の試運転・業務引継ぎ (12月～3月) ⇒工事着工の遅れにより延期 (1月～3月) 3月10日竣工検査により工事完了	(1) ○ (2) ○	○
				○地元団体への支援 (1)継続的な事業実施のための活動計画の策定 ①事業戦略会議による具体的計画の検討 ・ビジョンマップの作成 ・実行組織、チームの検討 ・マーチャンダイジングの設定 ⇒キックオフミーティングの開催(6月25日) ⇒事業計画策定完了(1月下旬) 3月4日成果報告会開催 ②専門家を招いての勉強会の実施 ⇒研修会の開催(6月25日) (2)地域資源を活用した商品やサービスの開発 ①商品開発会議による企画・開発 ⇒1月15日、2月18日実施予定 予定通り実施 ②体験村を拠点としたモニタリングの実施 ⇒2月19日、20日実施予定 予定通り実施 ③先進地視察の実施 ⇒2月中旬実施予定 1月31日～2月1日実施 (3)ターゲットを定めた広報・PR ①地域住民に対する意識醸成 (地域内) ②開発した商品・サービスに合わせた情報発信(地域外) ⇒ホームページ立上げ、予約受付開始 (3月) 3月3日ホームページ立上げ 4月1日予約受付開始	(1) ○ (2) ○ (3) △	△

No.	項目	目的・目標		令和5年度	評価	総合評価
35	観光の振興	【令和4年度まで】 ふるさと体験村の運営再開と持続可能な活動計画の策定 【令和5年度から】 ふるさと体験村の持続可能な運営に向けた支援の実施	実施した内容	○指定管理者への支援 (1)自走化に向けた体制・仕組みづくり ①事業計画のブラッシュアップ ・実行組織の見直し ⇒法人設立の検討開始 ・集客の仕組みづくり ⇒事業戦略会議の実施 (初回7/10実施後、定期的に実施) ・食堂メニューの充実(そば、スイーツ) ⇒忘年会プランの実施 ・BBQ食材セットの提供(9月開始) ⇒地元農産物の品目不足により来年度の提供開始を予定 ・営業日、時間の見通し ⇒営業期間の延長、定休日の変更 1～2月のみ休業 3月1日より営業再開 (2)地域資源を活用した商品やサービスの開発 ①リパッケージを中心とした商品開発 ②販売戦略の検討 ⇒国事業を活用し、JR東日本企画と連携 ⇒6月19日割当内示 ⇒専門家を招聘しワークショップ 初回9/2実施後、計7回実施 ⇒来年度、地域の行事を組み合わせメニュー化 ⇒今年度、体験メニュー利用者の増加につながらなかった (3)ターゲットを定めた広報・PR ①地域住民に対する意識醸成 ・ホームページ、SNSでの情報発信 ⇒随時更新の指導を実施 ②商品・サービスに合わせた情報発信 (広島圏域) ⇒6月　関係機関・事業所等、市内・広島を中心に周知・PR ⇒宿泊と飲食を別々にPR ⇒SNS、CATV、各種情報誌のPR強化 ⇒地元広報の実施 ③その他 ・施設内看板設置 ⇒都市建設部事業(景観形成事業補助金)で実施予定 3月7日設置完了 ・町内案内看板設置 ⇒来年度中山間振興枠で実施予定	(1) △ (2) △ (3) ○	△

No.	項目	目的・目標		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
35	観光の振興	【令和4年度まで】 ふるさと体験村の運営再開と持続可能な活動計画の策定 【令和5年度から】 ふるさと体験村の持続可能な運営に向けた支援の実施	実施した内容	○指定管理者への支援 (1)自走化に向けた体制・仕組みづくり ①事業計画のブラッシュアップ ・組織の法人化 ⇒年度内に法人設立決定 ⇒3月6日法人登記完了 ⇒事業計画、体制検討 ・食堂メニューの充実 ・どぶろくの復活準備 ⇒設立法人が製造免許取得 ・宿泊につなげるための割引プラン等の検討 ⇒6月末より期間限定のプランを実施中 ⇒8/3浜っ子夏まつりでステージPR、チラシ配布 ⇒8/11ゆめタウン浜田でチラシ配布 ⇒8/15弥栄ふるさとまつりでチラシ配布 ⇒9/19～　地元集落回り ⇒3月　デジタル看板でのPR ・各施設の宿泊実績 ⑴桑田　14組 ⑵箸立　14組 ⑶ログハウス　62組 (2)地域資源を活用した商品やサービスの開発 ①体験メニューの充実 ・国事業を活用し、JR東日本企画と連携 (最終年度) ②体験カレンダーの作成 ・年間を通じたメニューの企画、PR ⇒10月までの体験プログラム決定 ⇒12月までの体験プログラム決定 ⇒2月までの体験プログラム決定 ⇒3月までの体験プログラム決定 ⇒R7年度年間スケジュール作成	(1) △ (2) △	△	計画	○指定管理者への支援 (1)自走化に向けた体制・仕組みづくり ①事業計画のブラッシュアップ ・料金改定 ⇒宿泊料金の改定(4月) ・宿泊プランの検討 ⇒合宿プラン・ファミリープラン(4月) ・HP、予約サイトの見直し ・広報、PRの実施 (2)地域資源を活用した商品やサービスの開発 ①宿泊につながる体験メニューの検討 ②どぶろくの製造販売の開始 ⇒税務署へ製造免許申請書提出(5月中頃) ③飲食メニューの充実

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	令和4年度		評価	総合評価	令和5年度		評価	総合評価	令和6年度		評価	総合評価	令和7年度	
36	農業振興	農業最適化	実施した内容	○農地を守る仕組みづくり (1)集落営農組織の推進 ①農事組合法人の合併 ・営農計画の検討 ・作業体制の検討 ・解散、設立の事務手続き ⇒11月合併予定 11月1日設立登記予定 11月19日(土)設立総会開催 ②集落毎の人農地プランの作成 ・集落での話し合い支援 (集落巡回の実施) ・プラン実質化が完了した集落 も定期的に巡回 ・管理すべき農地の明確化及び 管理体制等の検討 ⇒11月16日より開始 (数年後には引退する農家が増える見込み) (2)高収益作物の導入 ①地域に合った作物の検討 ・有機作物の検討 ・圃場整備事業との連動 ・先進地視察の実施 ⇒11月9日有機露地野菜の視察実施 (ハウス資材高騰により今後は露地の方向へ) ⇒11月29日圃場整備、有機米の視察実施 (栽培面積が減少しても、将来管理しやすい圃場とする) (3)農作業の省力化 ①センチピードグラスの吹付 ・他地域の作業受託による 地域間連携による推進 ⇒横山町(約7a)、三隅町井野(約20a)で実施 ②ドローンによる共同防除 ・他地域の作業受託による 地域間連携による推進 ⇒来年度も取組面積増加予定 ③除草ロボットの活用 ・事業規模拡大による作業体制 の再構築 ・畦畔以外の草刈の検討 ⇒来年度も取組面積増加予定	(1) ○ (2) ○ (3) ○	○	実施した内容	○農地を守る仕組みづくり (1)地域営農の推進 ①集落巡回の実施 ・集落での話し合いの支援 ・人農地プランから「地域計画」への移行 ⇒11/27～2月まで順次実施 ②弥栄地域での施策検討 ・集落巡回での意見を集約 ・やさかむら集落営農組織連携協議会 を中心に施策の検討 ⇒来年度から担い手等の農地集約化に 取り組む (2)高収益作物の導入 ①地域に合った作物の検討 ・圃場整備事業推進協議会及び地域の 担い手で品目の決定 ⇒安城地区:有機ニンジン ⇒杵束地区:有機ポップコーン ・楽天農業との連携による試験栽培の実施 (ブロッコリー等) ⇒複数農家で有機ブロッコリーを栽培 ⇒今後、露地の有機栽培が拡大 (3)農作業の省力化 農家の高齢化・減少に伴う労働力不足 ①草刈対策の実施 (センチピードグラス吹付、草刈ロボット) ・地域間連携による推進(実施場所、オペ) ⇒センチピードグラス 旭町(30a)、三隅町(11a)の実施 ②ドローン防除の実施 ・地域間連携による推進(実施場所、オペ) ⇒金城町(202a)、美都町(55a)の実施 ③作業受託先の確保 ・合併法人((農)DreamAgri)が受託を検討 ・受託に必要な機械の導入検討 ⇒作業受託よりも預けたい意向が多い ⇒今後、担い手の雇用確保につながる 取組を推進	(1) ○ (2) ○ (3) ○	○	実施した内容	○農地を守る仕組みづくり (1)地域営農の推進 ①集落巡回の実施 ・集落での話し合いの支援 ⇒11月13日～12月16日実施 ・集落毎に地域計画の作成 ⇒1月末作成 ②担い手等の農地集約化 ・担い手側(農地の借手)の話し合い ⇒意向調査実施(アンケート) ・地域側(農地の貸手)の話し合い ⇒集落巡回にて実施 ・双方の意見をマッチング ⇒1集落で集約化開始 ③担い手の雇用確保 ・新農業人フェア等でのPR ・就農者の住居確保 ⇒空室の市営住宅の修繕検討 建築住宅課で1棟修繕 ⇒教員住宅の有効活用の検討 特定地域づくり事業協同組合の 住宅として検討 (2)特定地域づくり事業協同組合の設立 地域の特色を活かした「有機」の組合 ①地域おこし協力隊の活用 ・仕事の掘り起こし ・受入企業等ニーズ調査 ・組合設立事務 ⇒4月末時点で応募なし ②設立スケジュール ・6月　発起人決定 ・7～12月　発起人会 ⇒初回7月26日開催 ⇒第2回8月29日開催 ⇒第3回9月24日開催 ⇒第4回10月22日開催 ⇒第5回11月14日開催 ⇒第6回11月26日開催 ・1月　設立総会 ⇒1月27日設立総会開催、人材募集開始 ・2月　設立認可 ・3月　組合認定、派遣事業届出 ⇒財産的基礎相当の支援後(R7年4月) ・R7年5月～　事業開始	(1) ○ (2) ○	○	計画	○農地を守る仕組みづくり (1)地域営農の推進 ①集落巡回の実施 ・集落での話し合いの支援 ・地域計画の変更 ②直接支払制度(6期対策)の実施 ・集落協定の統合 ・集落営農連携協議会の見直し ⇒第1回5月8日開催 ③担い手の雇用確保 ・新農業人フェア等でのPR ・就農者の住居確保 (2)特定地域づくり事業協同組合の運営支援 地域の特色を活かした「有機」の組合 ①事業開始に向けた支援 ・各種認定、届出事務に対する支援 ⇒事業認定(5月23日) ②マルチワーカーの確保 ・令和7年度は3名の採用 ⇒現在1名採用、他2名面接予定 (3)住居の確保について ①既存の公営住宅の活用 ②空き家住宅の活用

【三隅支所防災自治課・産業建設課】

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
37	産業振興	石州和紙の利用拡大と人材育成	実施した内容	○石州和紙の振興 (1)石州和紙会館の管理・運営体制 ・再度指定管理に向けた準備 ⇒6/14庁内審査会にて指摘事項なし。 今後、仮協定に向け協議を進める。 ⇒12月定例会議へ指定議案を提出予定 ⇒仮協定を締結。12月定例会議に議案提出。 ⇒12月定例会議において可決。令和5年4月1日から指定管理開始。		○	実施した内容	指定管理者による管理運営			実施した内容	指定管理者による管理運営			計画	指定管理者による管理運営 （R7年度～R11年度） ○石州和紙振興策の検討 ・工房へのヒアリング （5月） ・和紙産地の視察 （6月～7月） ・石州和紙組合、石州和紙技術者会との協議 ・和紙振興支援策の方針決定 （9月） （令和8年度からの支援メニュー内定）
		楮の生産量の確保		○楮栽培・加工技術の向上 (1)研修会の実施 10/20 出荷作業研修会 11名 (2)生産量確保 ・R4 新規栽培者 1名 29a ・和紙事業者年間必要量 24,328kgに対し、楮生産量が30,748kgとなった。	○ ○	○		○楮生産の拡大と事業化の検討 (1)生産量確保 ・新規栽培者1名（栽培面積10a）を確保 (2)加工販売の検討 ・加工作業の研修会（12月） ・作業工程の確認による収支の試算と事業者要望ヒアリングを実施。 ⇒加工施設・人員の確保の必要がある。また現在の楮生産量では他産地への販売量は確保できない	△ △	△		○楮生産の拡大と加工作業サポート体制の構築 (1)生産量確保 ・和紙事業者年間必要量26,000kgに対し、楮生産量が33,208kgとなった。 (2)加工作業サポート体制 ・加工作業の研修会（12/18）2名 ・4工房ヒアリングを実施 ⇒有償ボランティア 3名（延べ14日）	○ ○	○		○楮生産の加工作業サポート (1)生産量確保 (2)加工作業サポート体制 ・加工作業の研修会（12月） ・有償ボランティア希望のヒアリング
		西条柿の生産性向上		○西条柿振興 (1)人・農地プランの作成 (2)栽培サポート体制の見直し ⇒農福連携等（サポステ浜田） ①摘らい・摘果 期間 ： 5/13～6/17（土日を除く28日間） 人数 ： 4名 （男性3名、女性1名） 受入農家 ： 3軒 ⇒受入農家において、1名雇用 ②収穫作業の実施を計画 期間 ： 10/11～11/25（土日祝を除く） 人数 ： 1名 （男性） 受入農家 ： 1軒 ⇒収穫ボランティア 18名(10/9～11/20) 延べ58回 JA出荷量（三隅地区分） 80.8t	○ ○	○		○西条柿振興 (1)栽培サポート体制の見直し ・摘果ボランティア 期間 ： 7/8～8/31 人数 ：3名 （延べ13回） 受入農家 ：2軒 ・収穫ボランティア 9月広報で募集 浜田応援団（県内・広島エリア）に周知 期間 ： 10/20～11/15 人数 ：9名 （延べ36回） 受入農家 ：4軒 JA出荷量（三隅地区分） 79.2t		○		○西条柿振興 (1)栽培サポート体制の構築 ・摘蕾ボランティア 期間 ：5/11～6/10 人数 ：4名 受入農家 ：1軒 ・摘果ボランティア 期間 ：7/1～8/6 人数 ：6名 （延べ44日） 受入農家 ：3軒 ・草刈ボランティア ・収穫ボランティア 9月広報で募集 浜田応援団に周知 人数 ： 16名 ・農福連携（サポステ浜田） 摘蕾摘果作業 6/4～6/28 1名 JA出荷量（三隅地区分） 72.0t		○		○西条柿振興 (1)栽培サポート体制の支援 ・摘蕾ボランティア 期間 5月～6月 ・摘果ボランティア 期間 7月～8月 ・収穫ボランティア 期間 10月～11月 (2)潅水施設の整備支援 ・組合への補助支援 5月 水路整備L=30m

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【教育部学校教育課】

No.	項目	目的・目標		令和4年度	評価	総合評価		令和5年度	評価	総合評価		令和6年度	評価	総合評価		令和7年度
38	【令和4年度まで】 高校魅力化コンソーシアム 【令和5年度から】 市内高等学校の魅力化支援について	魅力ある学びによる人づくり及び取組による地域活性化	実施した内容	○高校の魅力化推進 (1)HAMADA教育魅力化コンソーシアム運営 ・役員会の開催 （年度内に1～2回実施予定） 5/30（第1回）、11/17（第2回） ・地域協働マッチングシステムの促進 （3.31現在　活動した高校生数33人） ・HAMADA教育魅力化パートナーバンクの運営 （3.31現在　登録者：26人） ・教育課程外の高校生の探求活動の促進 ①高校生を募集して探究学習のワークショップを開催 ⇒　7/23高校生14人参加 8/6 高校生4人参加 活動様子をまとめたレポート発行 ②ふるさと歴史探究プロジェクト 浜田城資料館の高校生学芸員12人を委嘱 （R5.6月～9月の特別展示にて成果発表） ・卒業生ネットワークの構築 （3.31現在　登録者：12人） ・HAMADA教育魅力化フェスタの開催 （R5.2.5　いわみーる体育館） (2)市独自の支援策の検討 ・アンケート調査結果に基づく、高校や中学校との意見交換 ※令和4年度 魅力化コーディネーター1名増員 ・10/12　理数科生徒確保に関する協議 （岡田教育長、志波校長外） ・理数科の推薦入試、理数科での学びのメリットを伝えるチラシを作成（魅力化CN）し、中学校と中学生に配布 （11/5　浜高オープンキャンパスや中学校長会）	○ ○	○	実施した内容	○高校生を主体とした市内高校の魅力化 (1)HAMADA教育魅力化コンソーシアムによる高校生の支援 ・高校が地域と連携して行う探究学習の支援 6/10～9/24浜田城資料館高校生学芸員 特別展お披露目式　30人参加 7月の浜っ子タイムズでPR ・魅力化コーディネーターによる高校生への支援 −地域活動参画への支援 地域協働マッチングシステムの促進 （3.31現在　活動した高校生数84人） 魅力化コーディネーターによる個別相談 −活動成果を進学に活かす支援 8/6　地域系部活動の交流会実施 高校生9人参加 11/10・11　地域系部活動として 三隅フェスティバルに出展 高校生13人参加 ・HAMADA教育魅力化フェスタの開催 （R5.12.17　県立大学体育館） (2)市内高校への進学増のための支援策の検討 ・各高校の教育活動の内容や成果に関する情報の発信 （コンソーシアムだよりを計4回発行） ・高校や高校生を支援する活動を行う団体との意見交換や協議 （各学校の学校運営協議会に出席） ＜参考＞令和6年度市内高校合格者数 浜田高校　定員：200人　合格者：152人 浜田商業高校　定員：80人　合格者：69人 浜田水産高校　定員：80人　合格者：49人	○ △	△	実施した内容	○高校生を主体とした市内高校の魅力化 (1)HAMADA教育魅力化コンソーシアムによる高校生の支援 ・高校が地域と連携して行う探究学習の支援 ・高校生による企画発表会　1月18日実施 高校生18人（浜高15人、商業2人、水高1人） 参加者31人（企業、県大生、地域住民など） ・魅力化コーディネーターによる高校生への支援 −地域活動参画への支援 地域協働マッチングシステムの促進 魅力化コーディネーターによる個別相談 −活動成果を進学に活かす支援 (2)市内高校への進学増のための支援 ・各高校の教育活動の内容や成果に関する情報の発信 ・高校や高校生を支援する活動を行う団体との意見交換や協議 （各学校の学校運営協議会に出席） ・進学調査の分析実施 ・地域の日において各学校長との意見交換 ・県立高校3校合同による進学説明会調整 （市内中学校8校対象） 10月30日までにすべての中学校で開催 ①9/30　浜田東中　12人参加 ②10/1　二中　15人参加 ③10/15　旭中　46人参加 ④10/21　一中　23人参加 ⑤10/24　三中　15人参加 ⑥10/29　三隅中　13人参加 ⑦10/30　弥栄中　9人参加 ⑧10/31　金城中　7人参加 ・小中学校教員体験実習（3月4～5日実施） 教員を目指す高校生を小中学校に派遣 ①希望する高校生の募集 ②受入小中学校の調整 ＜参考＞令和7年度市内高校合格者数 浜田高校　定員：200人　合格者：182人 浜田商業高校　定員：80人　合格者：64人 浜田水産高校　定員：80人　合格者：36人	○ △	△	計画	○高校生を主体とした市内高校の魅力化 (1)HAMADA教育魅力化コンソーシアムによる高校生の支援 ・高校が地域と連携して行う探究学習の支援 ・魅力化コーディネーターによる高校生への支援 −地域活動参画への支援 地域協働マッチングシステムの促進 魅力化コーディネーターによる個別相談 −活動成果を進学に活かす支援 (2)市内高校への進学増のための支援 ・各高校の教育活動の内容や成果に関する情報の発信 ・高校や高校生を支援する活動を行う団体との意見交換や協議 ・県立高校3校合同による進学説明会調整 （市内中学校8校対象）